

前 金	部 分 払
有	—

令 和 3 年 度
水 工 第 1 3 号

道路整備事業(香良洲橋架替)に伴う香良洲町及び雲出伊倉津町地内配水管布設工事設計書

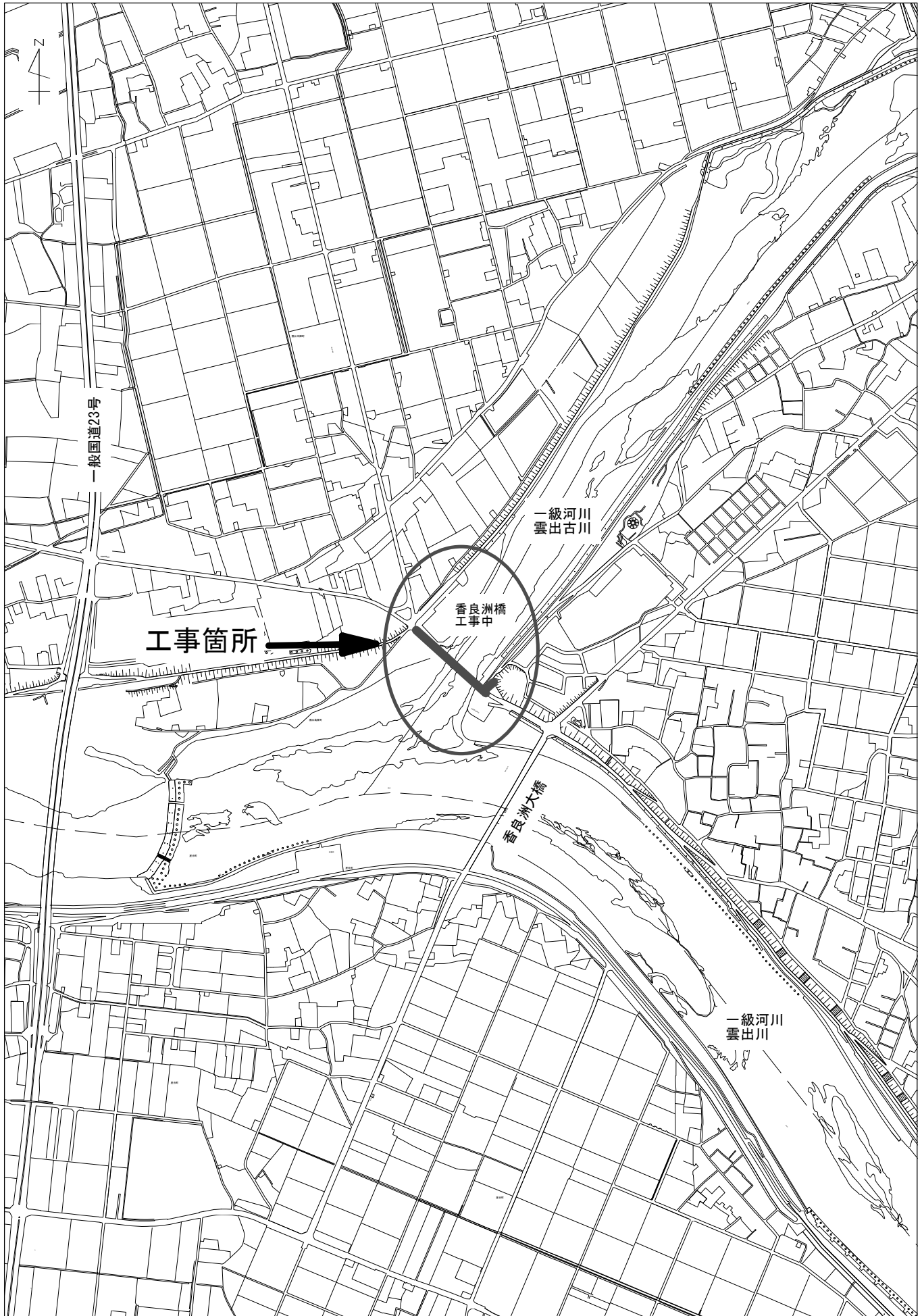
工事仕様は特記以外は三重県公共工事共通仕様書
及び工事監督員の指示による。

津市上下水道事業局
水 道 工 務 課

令和3年度	水工 第13号	工 事 設 計 書	
施工場所	津市 香良洲町及び雲出伊倉津町 地内	局 長	
		次 長	
工 事 名	道路整備事業(香良洲橋架替)に伴う香良洲町及び雲出伊倉津町地内配水管布設工事	課 長	
		検 算 者	
設 計 額	(うち消費税等相当額 ¥)	調整担当主幹	
		担当主幹	
工 期	令和 4年 1月28日限り	設 計 者	
支出科目	款	資本的支出	
	項	建設改良費	
	目	建設改良費	
工 事 の 大 要			
1	橋梁添架工	SUS250A	182.1 m
2	配水管布設工	DIP φ 250mm	26.3 m
3	管きよ更生工	φ 250mm	15.3 m
4	仕切弁設置工	φ 250mm～φ 50mm	2 箇所
5	空気弁設置工	φ 25mm	1 箇所
		φ 20mm	1 箇所

位置図

令和3年度水工第13号
道路整備事業（香良洲橋架替）に伴う
香良洲町及び雲出伊倉津町地内配水管布設工事



0 100 200 300 400 500m

1:10,000

設計内訳表

費目	工事区分	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	建設改良工事			式	1.000			
		管きよ添架工		式	1.000			第 0001 号 明細表
		材料		式	1.000			第 0002 号 明細表
		管添架工		式	1.000			
		管きよ更生工		式	1.000			
		更生材料		式	1.000			第 0003 号 明細表
		管きよ内面被覆工		式	1.000			第 0004 号 明細表
		管きよ		式	1.000			

設計内訳表

費目	工事区分	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
			材料	式	1.000			第 0005 号 明細表
			管路上工	式	1.000			第 0006 号 明細表
			管布設工	式	1.000			第 0007 号 明細表
			仮設工	式	1.000			第 0008 号 明細表
		全工種共通 (仮設工)		式	1.000			
		仮設工		式	1.000			
			交通管理工	式	1.000			第 0009 号 明細表
		直接工事費計		式	1.000			
		間接工事費						

設計内訳表

費目	工事区分	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
	共通仮設費							
	運搬費			式	1.000			第 9001 号 明細表
	事業損失防止施設費			式	1.000			第 9002 号 明細表
	役務費			式	1.000			第 9003 号 明細表
	技術管理費			式	1.000			第 9004 号 明細表
	共通仮設費 (率計上額)			式	1.000			
	共通仮設費計			式	1.000			
純工事費				式	1.000			
現場管理費				式	1.000			

設計内訳表

費目	工事区分	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
工事原価				式	1.000			
		一般管理費等		式	1.000			
工事価格				式	1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式	1.000			
本工事費計				式	1.000			

第 0001 号 明細表 材料

1 式						(上段 : 前回 下段 : 今回)	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
両ベベル直管 SUS316 sch20S 250A×1500L	本	1.000					
両ベベル直管 SUS316 sch20S 250A×4000L 埋設用 外面ポ リウエタン被覆	本	1.000					
両ベベル直管 SUS316 sch20S 250A×4000L	本	40.000					
両ベベル直管 SUS316 sch20S 250A×3800L	本	2.000					
空気弁座付両ベベル管 SUS316 sch20S 250A×80A×4000L×290H	本	1.000					
片ベベル片メカ挿短管 SUS316 sch20S 250A×1300L GX型 埋設 用 外面ポリウレタン被覆	本	1.000					
伸縮管 SUS316 SUS316TP ベロー ズ管 250A×1000L 常時±40 地震時±210	個	2.000					
伸縮管 SUS316 SUS316TP ベロー ズ管 250A×850L 常時±60	個	2.000					

第 0001 号 明細表 材料

1 式						(上段 : 前回 下段 : 今回)	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
不凍急排空気弁	基						
SUS316 φ25		1.000					
可動金具	組						
SS400溶融亜鉛メッキ 250A用 テフロン板含む		46.000					
Uボルト、ナット	組						
SUS316 250A用 絶縁スリーブ 絶縁ワッシャー含む		46.000					
固定金具	組						
SS400溶融亜鉛メッキ 250A用		3.000					
リングサポート	組						
SUS316 250A用		3.000					
合 計							

第 0002 号 明細表 管添架工

		1 式		(上段 : 前回 下段 : 今回)		摘要	
細別	規格	単位	数量	単価	金額		
鋼管架設工		m					
桁よこ作業	250A		182.100				
仮置き架台設置工		m					
桁よこ作業	250A		176.800				
スワルス鋼管電気溶接工		箇所				第0001号単価表	
呼び径250mm板厚6.5mm, 直流溶接	桁よこ作業		50.000				
外面塗装工		箇所				第0001号施工単価表	
径250mm			1.000				
伸縮管設置工		基				第0002号単価表	
250A			4.000				
空気弁設置工		基				第0002号施工単価表	
φ 2 5			1.000				
可動金具設置工		箇所					
250A用			46.000				
固定金具設置工		箇所					
250A用			3.000				

第 0002 号 明細表 管添架工

1 式						
(上段 : 前 回 下段 : 今 回)						
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
リングサポート取付工 250A用	箇所	3.000				
防護コンクリート	箇所	1.000				第0003号単価表
合 計						

第 0003 号 明細表 更生材料

1 式						
(上段 : 前 回 下段 : 今 回)						
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
シーリング 厚さ5.5mm ポリエステル繊維糸+ガラス繊維 糸+ポリエチレン樹脂 硬化性樹脂	m	15.300				
2液混合型エポキシ樹脂	kg	73.000				
管端リング φ 250用 SUS304	組	2.000				
合 計						

第 0004 号 明細表 管きょ内面被覆工

1 式		(上段 : 前回 下段 : 今回)		摘要	
細別	規格	単位	数量	単価	金額
管内清掃		スパン			
φ 250			1.000		
接着剤注入塗布		スパン			
φ 250			1.000		
反転挿入		スパン			
φ 250			1.000		
加熱養生		スパン			
φ 250			1.000		
気密金具撤去		箇所			
φ 250			2.000		
管端処理		箇所			
φ 250			2.000		
合計					

第 0005 号 明細表 材料

1 式		(上段 : 前回 下段 : 今回)		摘要	
細別規格	単位	数量	単価	金額	
直管 GX形 1種	本				
φ 250×5m 内面エポキシ粉体塗装		5.000			
フランジ短管	個				
φ 75×200		1.000			
曲管 GX形	個				
φ 250×45° 内面エポキシ粉体塗装		3.000			
曲管 GX形	個				
φ 250×5 5/8° 内面エポキシ粉体塗装		1.000			
両受曲管 GX形	個				
φ 250×45° 内面エポキシ粉体塗装		1.000			
F付き丁字管 GX形	個				
φ 250×75 内面エポキシ粉体塗装		2.000			
継輪 GX形	個				
φ 250 内面エポキシ粉体塗装		2.000			
両受短管 GX形	個				
φ 250 内面エポキシ粉体塗装		2.000			

第 0005 号 明細表 材料

1 式		(上段 : 前回 下段 : 今回)		摘要	
細別	規格	単位	数量	単価	金額
接合材料 GX形		個			
φ 250			10.000		
ライナ GX形		個			
φ 250			4.000		
切管用挿しロリング GX形		個			
φ 250			4.000		
G-Linkセット GX形		個			
φ 250			8.000		
合アランジ		個			
φ 75×50			1.000		
ポリエチレン管 一種 二層		m			
φ 50			0.700		
ポリオネジソケット		個			
φ 50			2.000		
ビニル管 HI		m			
φ 50			2.200		

第 0005 号 明細表 材料

		1 式		(上段 : 前 回 下段 : 今 回)		摘 要	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額			
ビニールエルボ HI 90° φ 50	個	4.000					
金属入バルブソケット HI φ 50	個	1.000					
砲金仕切弁 φ 50	基	1.000					
仕切弁 管 24型 蓋 FCD	個	1.000					
仕切弁 スラブ 60	組	2.000					
仕切弁 スラブ 100	組	1.000					
仕切弁 ブロック 25型 B-5	個	1.000					
仕切弁 ブロック 25型 C-30	個	1.000					

第 0005 号 明細表 材料

1 式		(上段 : 前 回 下段 : 今 回)		摘 要	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	
仕切弁 ブロック	個				
25型 C-10 凹		1.000			
仕切弁 ブロック	個				
32型 C-15 凹		1.000			
仕切弁 ブロック	個				
45型 C		1.000			
空気弁付き消火栓	基				
ステンレス製 単口75 空気弁 φ20 KT600同等品以上		1.000			
補修弁 レバー式	基				
φ75×100		1.000			
空気弁 管	個				
35×55		1.000			
空気弁 ブロック	個				
35×55 B-20		2.000			
空気弁 ブロック	個				
35×55 C		1.000			

第 0005 号 明細表 材料

1 式							(上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
空気弁 スラブ	組							
90		1.000						
ソフトシール仕切弁 耐震GX形受挿し口	個							
φ 250		1.000						
伸縮可とう管	個							
φ 250FCD製受挿口 ダブルボール式 偏心200mm 内面エポキシ粉体塗装		1.000						
メーカー MK-1W	本							
メカニカルジョイント形 管帽	個	7.000						
φ 250		2.000						
合 計								

第 0006 号 明細表 管路土工

1 式						
			(上段 : 前回		下段 : 今回)	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
機械掘削積込					第0005号施工単価表	
砂・砂質土	m ³	31.000				
機械埋戻工(埋戻し用砂)	m ³	10.000			第0006号施工単価表	
機械埋戻工(碎石(RC-40))	m ³	18.000			第0007号施工単価表	
発生土運搬費	m ³	31.000			第0008号施工単価表	
4.0 km						
合 計						

第 0007 号 明細表 管布設工

1 式						
			(上段 : 前回		下段 : 今回)	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
鑄鉄管布設工					第0009号施工単価表	
径250mm	m	26.300				
鑄鉄管切断工					第0010号施工単価表	
エンジンカッター 径250mm	口	5.000				

第 0007 号 明細表 管布設工

		1 式		(上段 : 前 回 下段 : 今 回)		摘 要	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	第0012号施工単価表		
鑄鉄管溝切り加工 径250mm G X 形	口	4. 000			第0015号施工単価表		
フランジ継手工 径75(80) mm JWWA 7.5K (0.74MPa)	口	3. 000			第0016号施工単価表		
鋼管継手工 (ねじ込みのみ) φ 5 0	口	3. 000			第0017号施工単価表		
ビニール管布設工 径50mm	m	2. 200			第0018号施工単価表		
ビニール管継手工 径50mm	口	9. 000			第0019号施工単価表		
G X 形継手接合工 径250mm 直管 通常	口	4. 000			第0020号施工単価表		
G X 形継手接合工 径250mm 異形管 通常	口	10. 000			第0021号施工単価表		
G X 形継手接合工 径250mm 異形管 G-Link	口	8. 000					

第 0007 号 明細表 管布設工

1 式		(上段 : 前 回 下段 : 今 回)		摘 要	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	第0022号施工単価表
ポリ管布設工 径50mm	m	0.700			第0022号施工単価表
ポリ管継手工 径50mm	口	2.000			第0023号施工単価表
仕切弁ブロック設置工 内寸 250mm	個	6.000			第0024号施工単価表
仕切弁ブロック設置工 内寸 320mm	個	3.000			第0025号施工単価表
仕切弁設置工 径 50mm以下 たて型	基	1.000			第0026号施工単価表
仕切弁設置工 径250mm たて型	基	1.000			第0027号施工単価表
空気弁設置工 空気弁 φ20 消火栓 φ75	基	1.000			第0028号施工単価表
空気弁ブロック設置工 筐	個	1.000			第0030号施工単価表

第 0007 号 明細表 管布設工

		1 式		(上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
空気弁ブロック設置工 ブロック	個	3.000			第0031号施工単価表
空気弁ブロック設置工 スラブ	個	1.000			第0032号施工単価表
ポリエチレンスリーブ工 径250mm 固定用ゴムパッキン	m	26.300			第0033号施工単価表
埋設標識シート工	m	29.200			第0034号施工単価表
G X継手挿口加工工 タップねじ式 径250mm	口	4.000			第0035号施工単価表
伸縮可とう管設置工 (鑄鉄製) 径250mm U × S	基	1.000			第0036号施工単価表
管明示テープ工 天端明示のみ	m	29.200			第0037号施工単価表
鑄鉄管切断工 エンジンカッター 径250mm	口	3.000			第0010号施工単価表

第 0007 号 明細表 管布設工

1 式						
			(上段 : 前回 下段 : 今回)		摘要	
細別	規格	単位	数量	単価	金額	
メカニカル特殊継手工		口				第0038号施工単価表
径250mm U、UF、LUF、US形 (SB、V T、LS方式) 以外			3.000			
メカニカル継手はざし工		口				第0039号施工単価表
径250mm K形			4.000			
合計						

第 0008 号 明細表 仮設工

1 式						
			(上段 : 前回 下段 : 今回)		摘要	
細別	規格	単位	数量	単価	金額	
土留工 (軽量鋼矢板たて込み)		m				第0040号施工単価表
掘削深=3.0m以下			4.000			
土留工 (軽量鋼矢板撤去)		m				第0041号施工単価表
掘削深=3.0m以下			4.000			
土留工 (軽量鋼矢板たて込み)		m				第0042号施工単価表
掘削深=2.0m以下			4.000			
土留工 (軽量鋼矢板撤去)		m				第0043号施工単価表
掘削深=2.0m以下			4.000			

第 0008 号 明細表 仮設工

1 式		(上段 : 前回 下段 : 今回)		摘要	
細別	規格	単位	数量	単価	金額
軽量金属材料支保工	設置・撤去 1段 2.0m以下 軽量金属 水压式	m			
			4.000		
軽量金属材料支保工	設置・撤去 2段 3.5m以下 軽量金属 水压式	m			
			4.000		
軽量鋼矢板損料		式			
			1.000		
軽量鋼矢板損料		式			
			1.000		
軽量金属支保損料		式			
			1.000		
軽量金属支保損料		式			
			1.000		
合計					

第 0009 号 明細表 交通管理工

1 式						
(上段 : 前回 下段 : 今回)						
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
交通誘導警備員費	式				第0052号施工単価表	
交通誘導警備員B 5 人		1.000				
合 計						

第 9001 号 明細表 運搬費

1 式						
(上段 : 前回 下段 : 今回)						
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
特殊機械回送費	式				第0004号単価表	
仮設材等運搬費 (往復)	式	1.000			第0053号施工単価表	
運搬重量= 1.7 t		1.000			第0054号施工単価表	
仮設材等積込み取卸し	式					
積込み取卸し重量= 1.7 t		1.000				
合 計						

第 9002 号 明細表 事業損失防止施設費

1 式						
(上段 : 前回 下段 : 今回)						
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
試掘工		式				第0005号単価表
			1.000			
合 計						

第 9003 号 明細表 役務費

1 式						
(上段 : 前回 下段 : 今回)						
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
足場使用料		式				
			1.000			
合 計						

第 9004 号 明細表 技術管理費

		1 式				(上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
X線検査工	枚				第0059号施工単価表		
添架管 径1000mm未満		8.000					
TVカメラ調査工	回						
φ250用		2.000					
通水試験工	日				第0060号施工単価表 延長L=223.7m (182.1+1.5+15.3+24.8)		
マーカ一反応検査費 (探知機賃料)	式						
		1.000					
材料検査費 (チェッカー賃料)	式						
		1.000					
合 計							

第 0001 号 施工単価表 1.000 箇所 当り						
外面塗装工 径250mm	名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
塗装工		人				
	ジョイントコート					
	φ 250	個	1.000			
	諸雑費	式	1.000			
	合計	箇所	1.000			
	単位当り	箇所	1.000	当り		

第 0002 号 施工単価表 1.000 基 当り						
空気弁設置工 φ 2 5	名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				

第 0002 号 施工単価表 1.000 基 当り						
空気弁設置工 φ 25						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
普通作業員	人					
諸雑費	式	1.000				
合計	基	1.000				
単位当り	基	1.000 当り				

第 0003 号 施工単価表 10.000 m3 当り						
コンクリート(施工パッケージ) 小型構造物 18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 小型車割増無し						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
コンクリート(施工パッケージ) 小型構造物 18-8-25(高炉) W/C=60%以下 小型車 割増無し	m3	10.000			CB240010(0001)	
合計	m3	10.000				

第 0003 号 施工単価表 10.000 m3 当り						
コンクリート(施工ハッケージ) 小型構造物 18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 小型車割増無し						
名 称	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
単位当り	m3	1.000	当り			

第 0004 号 施工単価表 100.000 m2 当り						
型枠(施工ハッケージ) 一般型枠						
名 称	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
型枠(施工ハッケージ) 一般型枠	m2	100.000			CB240210(0002)	
合計	m2	100.000				
単位当り	m2	1.000	当り			

第 0005 号 施工単価表 100.000 m3 当り						
機械掘削積込 砂・砂質土						
名 称	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	人					

第 0005 号 施工単価表 100.000 m3 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
機械掘削積込 砂・砂質土						
普通作業員	人					
バックホウ運転費	時間				第0001号運転単価表	
諸雑費	式	1.000				
合計	m3	100.000				
単位当り	m3	1.000 当り				

第 0006 号 施工単価表 100.000 m3 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
機械埋戻工(埋戻し用砂)						
埋戻し用砂	m3	126.000				

機械埋戻工(埋戻し用砂)							第 0006 号 施工単価表 100.000 m3 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
土木一般世役	人							
普通作業員	人							
バックホウ運転費	時間					第0001号運転単価表		
タンバ運転費	日					第0002号運転単価表		
諸雑費	式	1.000						
合計	m3	100.000						
単位当り	m3	1.000	当り					

機械埋戻工(砕石(RC-40))							第 0007 号 施工単価表 100.000 m3 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
再生クラッシュヤーン	m3	120.000						
RC-40								
土木一般世話役	人							
普通作業員	人							
バックホウ運転費	時間						第0001号運転単価表	
タンバ運転費	日						第0002号運転単価表	
諸雑費	式	1.000						
合計	m3	100.000						

機械埋戻工(砕石(RC-40))						
第 0007 号 施工単価表 100.000 m3 当り						
名	称	単位	数量	単価	金額	摘 要
単位当り		m3	1.000	当り		

発生土運搬費 4.0 km						
第 0008 号 施工単価表 10.000 m3 当り						
名	称	単位	数量	単価	金額	摘 要
ダンプトラック運搬費		日				第0003号運転単価表
合計		m3	10.000			
単位当り		m3	1.000	当り		

鑄鉄管布設工 径250mm						
第 0009 号 施工単価表 10.000 m 当り						
名	称	単位	数量	単価	金額	摘 要
配管工		人				

第 0009 号 施工単価表 10.000 m 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
鑄鉄管布設工 径250mm						
普通作業員	人					
トラック運転費	時間				第0004号運転単価表	
合計	m	10.000				
単位当り	m	1.000 当り				

第 0010 号 施工単価表 1.000 口 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
鑄鉄管切断工 エンジンカッター 径250mm						
特殊作業員	人					
普通作業員	人					

第 0010 号 施工単価表 1.000 日 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
鑄鉄管切断工 エンジンカッター 径250mm						
エンジンカッター損料 径250mm	日				第0011号施工単価表	
諸雑費	式	1.000				
合計	口	1.000				
単位当り	口	1.000 当り				

第 0011 号 施工単価表 1.000 日 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
エンジンカッター損料 径250mm						
エンジンカッター損料 φ 250, エンジンカッター	日					
合計	日	1.000				

エンジンカッター損料 径250mm						第 0011 号 施工単価表 1.000 日 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
単位当り	日	1.000	当り				

鑄鉄管溝切り加工 径250mm G X形						第 0012 号 施工単価表 1.000 日 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
特殊作業員	人						
普通作業員	人						
タビッねじ式専用工具損料 径250mm	日				第0013号施工単価表		
溝切り・切断刃損耗費 径250mm 溝切りのみ	式	1.000			第0014号施工単価表		
諸雑費	式	1.000					

第 0012 号 施工単価表 1.000 口 当り						
鑄鉄管溝切り加工 径250mm GX形						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
合計	口	1.000				
単位当り	口	1.000 当り				

第 0013 号 施工単価表 1.000 口 当り						
タレットねじ式専用工具損料 径250mm						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
タレットねじ式専用工具損料						
φ 250、NS・GXタレットねじ式専用工具	口	1.000				
ガイドリング						
φ 250、NS・GXタレットねじ式専用工具用	口	1.000				
合計	口	1.000				
単位当り	口	1.000 当り				

第 0014 号 施工単価表 1.000 式 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
溝切り・切断刃損耗費 径250mm 溝切りのみ						
ダクタイトル鋳鉄管切断機 溝切り刃						
φ 250、NS・GXタッピンねじ式専用工具用	枚	1.000				
合計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

第 0015 号 施工単価表 1.000 口 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
フランジ継手工 径75(80)mm JWWA 7.5K (0.74MPa)						
フランジ接合材 六角ボルト・ナット 7.5K						
φ 75, SUS, M16, (4本/組)	組	1.000				
フランジ接合材 フランジパッキン 7.5K						
φ 75, GF形カスケツト1号	枚	1.000				
配管工	人					

第 0015 号 施工単価表 1.000 口 当り						
フランジ継手工 径75(80)mm JWWA 7.5K (0.74MPa)						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
普通作業員	人					
諸雑費	式	1.000				
合計	口	1.000				
単位当り	口	1.000 当り				

第 0016 号 施工単価表 2.000 口 当り						
鋼管継手工 (ねじ込みのみ) φ 5 0						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					

鋼管継手工 (ねじ込みのみ) φ 50							第 0016 号 施工単価表 2.000 口 当り	
名	称	単位	数量	単 価	金 額	摘 要		
諸雑費		式	1.000					
合計		口	2.000					
単位当り		口	1.000	当り				

ビニール管布設工 径50mm							第 0017 号 施工単価表 10.000 m 当り	
名	称	単位	数量	単 価	金 額	摘 要		
配管工		人						
普通作業員		人						
合計		m	10.000					

第 0017 号 施工単価表 10.000 m 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ビニール管布設工 径50mm	m	1.000	当り			
単位当り						

第 0018 号 施工単価表 2.000 口 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	式	1.000				
合計	口	2.000				
単位当り	口	1.000	当り			

第 0019 号 施工単価表 1.000 口 当り						
G X形継手接合工 径250mm 直管 通常						
名 称	单 位	数 量	单 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	式	1.000				
合計	口	1.000				
単位当り	口	1.000 当り				

第 0020 号 施工単価表 1.000 口 当り						
G X形継手接合工 径250mm 異形管 通常						
名 称	单 位	数 量	单 価	金 額	摘 要	
配管工	人					

G X形継手接合工 径250mm 異形管 通常							第 0020 号 施工単価表 1.000 口 当り		
名 称	单 位	数 量	单 価	金 額	摘 要				
普通作業員	人								
諸雑費	式	1.000							
合計	口	1.000							
単位当り	口	1.000 当り							

G X形継手接合工 径250mm 異形管 G-Link							第 0021 号 施工単価表 1.000 口 当り		
名 称	单 位	数 量	单 価	金 額	摘 要				
配管工	人								
普通作業員	人								

第 0021 号 施工単価表 1.000 口 当り						
G X形継手接合工 径250mm 異形管 G-Link						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
諸雑費	式	1.000				
合計	口	1.000				
単位当り	口	1.000	当り			

第 0022 号 施工単価表 10.000 m 当り						
ポリ管布設工 径50mm						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					
合計	m	10.000				

第 0022 号 施工単価表 10.000 m 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ポリ管布設工 径50mm	m	1.000	当り			
単位当り						

第 0023 号 施工単価表 1.000 口 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	式	1.000				
合計	口	1.000				
単位当り	口	1.000	当り			

仕切弁ブロック設置工 内寸 250mm		第 0024 号 施工単価表 1.000 個 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
合計	個	1.000			
単位当り	個	1.000 当り			

仕切弁ブロック設置工 内寸 320mm		第 0025 号 施工単価表 1.000 個 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
合計	個	1.000			
単位当り	個	1.000 当り			

第 0026 号 施工単価表 1.000 基 当り						
仕切弁設置工 径 50mm以下 たて型						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					
合計	基	1.000				
単位当り	基	1.000 当り				

第 0027 号 施工単価表 1.000 基 当り						
仕切弁設置工 径250mm たて型						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					

第 0027 号 施工単価表 1.000 基 当り						
仕切弁設置工 径250mm たて型	名称	単位	数量	単価	金額	摘要
トラック運転費		時間				第0004号運転単価表
合計		基	1.000			
単位当り		基	1.000	当り		

第 0028 号 施工単価表 1.000 基 当り						
空気弁設置工 空気弁φ20 消火栓φ75	名称	単位	数量	単価	金額	摘要
急速空気弁設置工 φ75		基	1.000			第0029号施工単価表
フランジ接合材 フランジパッキン φ75, RF形カスケツト		枚	1.000			
フランジ接合材 六角ボルト・ナット 7.5K φ75, SUS, M16, (4本/組)		組	1.000			

第 0028 号 施工単価表 1.000 基 当り						
空気弁設置工 空気弁 φ20 消火栓 φ75						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
合計	基	1.000				
単位当り	基	1.000 当り				

第 0029 号 施工単価表 1.000 基 当り						
急速空気弁設置工 φ75						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	式	1.000				
合計	基	1.000				

第 0029 号 施工単価表 1.000 基 当り						
急速空気弁設置工 φ75						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
単位当り	基	1.000 当り				

第 0030 号 施工単価表 1.000 個 当り						
空気弁ブロック設置工 筐						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
普通作業員	人					
合計	個	1.000				
単位当り	個	1.000 当り				

第 0031 号 施工単価表 1.000 個 当り						
空気弁ブロック設置工 ブロック						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
普通作業員	人					

空気弁ブロック設置工 ブロック							第 0031 号 施工単価表 1.000 個 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
合計	個	1.000						
単位当り	個	1.000 当り						

空気弁ブロック設置工 スラブ							第 0032 号 施工単価表 1.000 個 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
普通作業員	人							
合計	個	1.000						
単位当り	個	1.000 当り						

ポリエチレンスリーブ工 径250mm 固定用ゴムバンド		第 0033 号 施工単価表 100.000 m 当り				
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					
ポリエチレンスリーブ	m	120.000				
φ 2 5 0	組	160.000				
ゴムバンド及び締め具						
φ 2 5 0	m	100.000				
合計						
単位当り	m	1.000	当り			

埋設標識シート工							第 0034 号 施工単価表	
							100.000 m	当り
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
普通作業員	人							
埋設標識シート 150×50m	m	100.000						
合計	m	100.000						
単位当り	m	1.000	当り					

GX継手挿口加工工							第 0035 号 施工単価表	
							1.000 口	当り
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
配管工	人							
普通作業員	人							

第 0035 号 施工単価表 1.000 口 当り						
G X継手挿口加工工 タッピンねじ式 径250mm						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
諸雑費	式	1.000				
合計	口	1.000				
単位当り	口	1.000	当り			

第 0036 号 施工単価表 1.000 基 当り						
伸縮可とう管設置工 (鋳鉄製) 径250mm U×S						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック運転費	時間					第0004号運転単価表

伸縮可とう管設置工（鋳鉄製） 第 0036 号 施工単価表 1.000 基 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
諸雑費						
	式	1.000				
合計	基	1.000				
単位当り	基	1.000	当り			

管明示テープ工 第 0037 号 施工単価表 100.000 m 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
普通作業員	人					
管明示テープ 年号入り 幅50mm 厚さ0.15mm以上 塩化ビニルテープ（片面粘着剤付）	m	100.000				
合計	m	100.000				

管明示テープ工 天端明示のみ							第 0037 号 施工単価表 100.000 m 当り		
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要				
単位当り	m	1.000	当り						

メカニカル特殊継手工 径250mm U、UF、LUF、US形 (SB、VT、LS方式) 以外							第 0038 号 施工単価表 1.000 口 当り		
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要				
配管工	人								
普通作業員	人								
諸雑費	式	1.000							
合計	口	1.000							
単位当り	口	1.000	当り						

メカニカル継手はずし工 径250mm K形							第 0039 号 施工単価表 1.000 口 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
配管工	人							
普通作業員	人							
合計	口	1.000						
単位当り	口	1.000 当り						

土留工 (軽量鋼矢板たて込み) 掘削深=3.0m以下							第 0040 号 施工単価表 133.200 m 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
土木一般世話役	人							
特殊作業員	人							

第 0040 号 施工単価表 133.200 m 当り						
土留工 (軽量鋼矢板たて込み) 掘削深=3.0m以下						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
普通作業員	人					
バックホウ運転費	時間				第0006号運転単価表	
諸雑費	式	1.000				
合計	m	133.200				
単位当り	m	1.000 当り				

第 0041 号 施工単価表 133.200 m 当り						
土留工 (軽量鋼矢板撤去) 掘削深=3.0m以下						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	人					

第 0041 号 施工単価表 133.200 m 当り						
土留工 (軽量鋼矢板撤去) 掘削深=3.0m以下						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ運転費	時間				第0006号運転単価表	
諸雑費	式	1.000				
合計	m	133.200				
単位当り	m	1.000	当り			

第 0042 号 施工単価表 133.200 m 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土留工 (軽量鋼矢板たて込み) 掘削深=2.0m以下						
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ運転費	時間				第0006号運転単価表	
諸雑費	式	1.000				
合計	m	133.200				
単位当り	m	1.000	当り			

第 0043 号 施工単価表 133.200 m 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土留工 (軽量鋼矢板撤去) 掘削深=2.0m以下						
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ運転費	時間				第0006号運転単価表	
諸雑費	式	1.000				
合計	m	133.200				
単位当り	m	1.000	当り			

第 0044 号 施工単価表 100.000 m 当り						
軽量金属材料支保工 設置・撤去 1段 2.0m以下 軽量金属 水圧式						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
諸雑費	式	1.000				
合計	m	100.000				
単位当り	m	1.000	当り			

第 0045 号 施工単価表 100.000 m 当り						
軽量金属材料支保工 設置・撤去 2段 3.5m以下 軽量金属 水圧式						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
諸雑費	式	1.000				
合計	m	100.000				
単位当り	m	1.000	当り			

第 0046 号 施工单价表 1.000 式 当り						
名 称	单 位	数 量	单 价	金 额	摘 要	
轻量鋼矢板損料	m2	15.984			第0047号施工单价表	
諸雜費	式	1.000				
合計	式	1.000				
单位当り	式	1.000	当り			

第 0047 号 施工单价表 1.000 m2 当り						
名 称	单 位	数 量	单 价	金 额	摘 要	
轻量鋼矢板賃料 1 型, 2 型, 3 型	m2	7.000				
轻量鋼矢板修理及ひ損耗費	m2	1.000			第0048号施工单价表	

第 0047 号 施工単価表 1.000 m2 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
合計	m2	1.000				
単位当り	m2	1.000 当り				

第 0048 号 施工単価表 1.000 t 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
軽量鋼矢板 整備費	t	1.000				
合計	t	1.000				
単位当り	t	1.000 当り				

第 0049 号 施工単価表 1.000 式 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
軽量鋼矢板損料	m ²	23.976			第0047号施工単価表	
諸雑費	式	1.000				
合計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

第 0050 号 施工単価表 1.000 式 当り						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
アルミ腹起こし 賃料 70～80×115～130×4000mm (程度)	本/日					
アルミ腹起こし 基本料 70～80×115～130×4000mm (程度)	本	2.000				

軽量金属支保損料

第 0050 号 施工単価表
1.000 式 当り

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水圧サポート 賃料					
調整長590～900mm(程度)	本/日				
水圧サポート 基本料					
調整長590～900mm(程度)	本	2.000			
水圧ポンプ 賃料					
	本/日				
水圧ポンプ 基本料					
	本	1.000			
諸雑費					
	式	1.000			
合計	式	1.000			
単位当り	式	1.000	当り		

軽量金属支保損料

第 0051 号 施工単価表
1.000 式 当り

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
アルミ腹起こし 賃料					
70～80×115～130×4000mm (程度)	本/日				
アルミ腹起こし 基本料					
70～80×115～130×4000mm (程度)	本	4.000			
水圧サポート 賃料					
調整長590～900mm (程度)	本/日				
水圧サポート 基本料					
調整長590～900mm (程度)	本	4.000			
水圧ポンプ 賃料					
	本/日				
水圧ポンプ 基本料					
	本	1.000			
諸雑費					
	式	1.000			

第 0051 号 施工単価表 1.000 式 当り						
名 称	单 位	数 量	单 価	金 額	摘 要	
合計	式	1.000				
単位当り	式	1.000 当り				

第 0052 号 施工単価表 1.000 式 当り						
名 称	单 位	数 量	单 価	金 額	摘 要	
交通誘導警備員費 交通誘導警備員B 5 人	人					
交通誘導警備員B	式	1.000				
合計	式	1.000				
単位当り	式	1.000 当り				

仮設材等運搬費 (往復) 運搬重量= 1.7 t							第 0053 号 施工単価表 1.000 式 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
運搬費	式	1.000						
合計	式	1.000						
単位当り	式	1.000	当り					

仮設材等積込み取卸し 積込み取卸し重量= 1.7 t							第 0054 号 施工単価表 1.000 式 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
積込みのみ	t	1.700						
取卸しのみ	t	1.700						
積込みのみ	t	1.700						

第 0054 号 施工単価表 1.000 式 当り						
仮設材等積込み取卸し 積込み取卸し重量= 1.7 t	名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
取卸しのみ		t	1.700			
合計		式	1.000			
単位当り		式	1.000	当り		

第 0055 号 施工単価表 100.000 m3 当り						
機械掘削 砂・砂質土	名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
小型バックホウ運転費		日				第0007号運転単価表

第 0055 号 施工単価表 100.000 m3 当り						
機械掘削 砂・砂質土						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
諸雑費	式	1.000				
合計	m3	100.000				
単位当り	m3	1.000	当り			

第 0056 号 施工単価表 100.000 m3 当り						
機械埋戻工(埋戻し用砂)						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
埋戻し用砂	m3	126.000				
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					

機械埋戻工(埋戻し用砂)							第 0056 号 施工単価表 100.000 m3 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
小型バックホウ運転費	日							第0007号運転単価表
タンバ運転費	日							第0002号運転単価表
諸雑費	式	1.000						
合計	m3	100.000						
単位当り	m3	1.000	当り					

機械埋戻工(砕石(RC-40))							第 0057 号 施工単価表 100.000 m3 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
再生クラッシュヤーン								
RC-40	m3	120.000						

機械埋戻工(砕石(RC-40))							第 0057 号 施工単価表 100.000 m3 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
土木一般世役	人							
普通作業員	人							
小型バックホウ運転費	日					第0007号運転単価表		
タンバ運転費	日					第0002号運転単価表		
諸雑費	式	1.000						
合計	m3	100.000						
単位当り	m3	1.000	当り					

発生土運搬費 4.0 km							第 0058 号 施工単価表 10.000 m3 当り		
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要				
ダンプトラック運転費	日				第0008号運転単価表				
合計	m3	10.000							
単位当り	m3	1.000	当り						

X線検査工 添架管 径1000mm未満							第 0059 号 施工単価表 8.000 枚 当り		
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要				
検査主任技師 (技師A)	人								
検査技師 (技師B)	人								
普通作業員	人								

第 0059 号 施工単価表 8.000 枚 当り						
名 称	单 位	数 量	单 価	金 額	摘 要	
X線検査工 添架管 径1000mm未満 機械器具費等	式	1.000				
諸雑費	式	1.000				
合計	枚	8.000				
単位当り	枚	1.000	当り			

第 0060 号 施工単価表 1.000 日 当り						
名 称	单 位	数 量	单 価	金 額	摘 要	
配管工	人					
普通作業員	人					

通水試験工								第 0060 号 施工単価表		
								1.000 日 当り		
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要					
諸雑費										
	式	1.000								
合計	日	1.000								
単位当り	日	1.000	当り							

SJ0020		ステンレス鋼管電気溶接工 呼び径250mm板厚6.5mm, 直流溶接		桁よこ作業		第 0001 号単価表		1 箇所 当り	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要				
ステンレス溶接工	人								
特殊作業員	人								
土木一般世話役	人								
諸雑費	式	1.000							
合 計	箇所	1.000							
単位当り	箇所	1.000	当り						

SJ0030 伸縮管設置工 250A		第 0002 号単価表 1 基					当り
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
橋梁世話役	人						
橋梁特殊工	人						
普通作業員	人						
トラック賃料	日						
諸雑費	式	1.000					
合 計	基	1.000					
単位当り	基	1.000	当り				

SJ0010 防護コンクリート		第 0003 号単価表 1 箇所 当り				
名称	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート(施工パッケージ) 小型構造物 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下 小型車割増無し	m3	0.150			第0003号施工単価表	
型枠(施工パッケージ) 一般型枠	m2	0.510			第0004号施工単価表	
無収縮モルタル	m3	0.110				
合計	箇所	1.000				
単位当り	箇所	1.000	当り			

SJ0050 特殊機械回送費		第 0004 号単価表 1 式				当り
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
特殊機械回送費 (事前調査)	式	1.000				
特殊機械回送費 (管きよ更生時)	式	1.000				
合 計	式	1.000				
単位当り	式	1.000	当り			

SJ0100 試掘工		第 0005 号単価表 1 式					当り
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
機械掘削 砂・砂質土	m3	5.420			第0055号施工単価表		
床掘り(施工ハッケーヅ) 土砂	m3	0.960			CB210030(0003)		
機械埋戻工(埋戻し用砂)	m3	0.960			第0056号施工単価表		
機械埋戻工(碎石(RC-40))	m3	5.500			第0057号施工単価表		
発生土運搬費 4.0 km	m3	6.390			第0058号施工単価表		
合 計	式	1.000					
単位当り	式	1.000	当り				

施工パッケージ単価一覧表

単価コード	施工名称	単位	標準単価	積算単価	条件名称	条件値
CB240010(0001)	コンクリート(施工パッケージ)	m3			構造物種別 コンクリート規格	小型構造物 18-8-25(高炉)
					水セメント比 小型車割増	W/C=60%以下 小型車割増無し
CB240210(0002)	型枠(施工パッケージ)	m2			型枠の種類	一般型枠
CB210030(0003)	床掘り(施工パッケージ)	m3			土質	土砂

試掘工

試掘工①

工種				数量	単位
L=	1.20	m			
W=	1.35	m			
H=	2.00	m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込	1.20	×	1.35		m ²
As殻処分	1.20	×	1.35	×	0.00
機械掘削	1.20	×	1.35	×	1.70
人力掘削	1.20	×	1.35	×	0.30
機械埋戻(砂)	1.20	×	1.35	×	0.30
機械埋戻(碎石)	1.20	×	1.35	×	1.70
発生土運搬	1.20	×	1.35	×	2.00
舗装仮復旧					m ²

試掘工②

工種				数量	単位
L=	1.20	m			
W=	1.35	m			
H=	2.00	m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込	1.20	×	1.35		m ²
As殻処分	1.20	×	1.35	×	0.05
機械掘削	1.20	×	1.35	×	1.65
人力掘削	1.20	×	1.35	×	0.30
機械埋戻(砂)	1.20	×	1.35	×	0.30
機械埋戻(碎石)	1.20	×	1.35	×	1.70
発生土運搬	1.20	×	1.35	×	1.95
舗装仮復旧					m ²

試掘工③

工種				数量	単位
L=		m			
W=		m			
H=		m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込					m ²
As殻処分					m ³
機械掘削					m ³
人力掘削					m ³
機械埋戻(砂)					m ³
機械埋戻(碎石)					m ³
発生土運搬					m ³
舗装仮復旧			仮復旧厚t=		m ²

試掘工④

工種				数量	単位
L=		m			
W=		m			
H=		m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込					m ²
As殻処分					m ³
機械掘削					m ³
人力掘削					m ³
機械埋戻(砂)					m ³
機械埋戻(碎石)					m ³
発生土運搬					m ³
舗装仮復旧			仮復旧厚t=		m ²

試掘工⑤

工種				数量	単位
L=		m			
W=		m			
H=		m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込					m ²
As殻処分					m ³
機械掘削					m ³
人力掘削					m ³
機械埋戻(砂)					m ³
機械埋戻(碎石)					m ³
発生土運搬					m ³
舗装仮復旧			仮復旧厚t=		m ²

集計

工種	試掘工①	試掘工②					計	単位
舗装切断	0.00	0.00					0.00	m
舗装版掘削積込	0.00	0.00					0.00	m ²
As殻処分	0.00	0.00					0.00	m ³
機械掘削	2.75	2.67					5.42	m ³
人力掘削	0.48	0.48					0.96	m ³
機械埋戻(砂)	0.48	0.48					0.96	m ³
機械埋戻(碎石)	2.75	2.75					5.50	m ³
発生土運搬	3.24	3.15					6.39	m ³
舗装仮復旧	0.00	0.00					0.00	m ²

試掘工⑥

工種				数量	単位
L=		m			
W=		m			
H=		m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込					m ²
As殻処分					m ³
機械掘削					m ³
人力掘削					m ³
機械埋戻(砂)					m ³
機械埋戻(碎石)					m ³
発生土運搬					m ³
舗装仮復旧			仮復旧厚t=		m ²

試掘工⑦

工種				数量	単位
L=		m			
W=		m			
H=		m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込					m ²
As殻処分					m ³
機械掘削					m ³
人力掘削					m ³
機械埋戻(砂)					m ³
機械埋戻(碎石)					m ³
発生土運搬					m ³
舗装仮復旧			仮復旧厚t=		m ²

試掘工⑧

工種				数量	単位
L=		m			
W=		m			
H=		m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込					m ²
As殻処分					m ³
機械掘削					m ³
人力掘削					m ³
機械埋戻(砂)					m ³
機械埋戻(碎石)					m ³
発生土運搬					m ³
舗装仮復旧			仮復旧厚t=		m ²

試掘工⑨

工種				数量	単位
L=		m			
W=		m			
H=		m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込					m ²
As殻処分					m ³
機械掘削					m ³
人力掘削					m ³
機械埋戻(砂)					m ³
機械埋戻(碎石)					m ³
発生土運搬					m ³
舗装仮復旧			仮復旧厚t=		m ²

試掘工⑩

工種				数量	単位
L=		m			
W=		m			
H=		m			
舗装切断					m
舗装版掘削積込					m ²
As殻処分					m ³
機械掘削					m ³
人力掘削					m ³
機械埋戻(砂)					m ³
機械埋戻(碎石)					m ³
発生土運搬					m ³
舗装仮復旧			仮復旧厚t=		m ²

令和3年度水工第13号

道路整備事業（香良洲橋架替）に伴う香良洲町及び雲出伊倉津町地内配水管布設工事

数量総括表

バル2 : 管きよ添架工

バル2 管きよ更生工

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
建設改良工事					式	1	
	管きよ添架工				式	1	
		材料			式	1	
			両ベベル直管	SUS316 sch20S 250A×1500L	本	1	管材費含む
			両ベベル直管	SUS316 sch20S 250A×4000L	本	1	管材費を含む 埋設用/ホ°内/外/被覆
			両ベベル直管	SUS316 sch20S 250A×4000L	本	40	管材費を含む
			両ベベル直管	SUS316 sch20S 250A×3800L	本	2	管材費を含む
			空気弁座付両ベベル直管	SUS316 sch20S 250A×80A×4000L×290H	本	1	管材費を含む
			片ベベル片メカ挿短管	SUS316 sch20S 250A×1300L GX型	本	1	管材費を含む 埋設用/ホ°内/外/被覆
			伸縮管	ペローズ型 SUS316、SUS316TP 250A×1000L 常時±40 地震時±210	個	2	管材費を含む
			伸縮管	ペローズ型 SUS316、SUS316TP 250A×850L 常時±60	個	2	管材費を含む
			不凍急排空気弁	SUS316 φ25	基	1	管材費を含む
			可動金具	SS400溶融亜鉛メッキ 250A用 テフロン板含む	組	46	
			Uボルト、ナット	SUS316 250A用 絶縁スリーブ、絶縁ワッシャー含む	組	46	
			固定金具	SS400溶融亜鉛メッキ 250A用	組	3	

工事数量総括表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			リングサポート	SUS316 250A用	組	3	
		管添架工			式	1	
			鋼管架設工	桁よこ 250A	m	182.1	
			仮置き架台設置工		m	176.8	
			ステンレス鋼管溶接工	250A	口	50	
			外面塗装工	熱収縮系タイプ 250A	箇所	1	
			伸縮管設置工	250A	基	4	
			空気弁設置工	φ25	箇所	1	
			可動金具設置工	250A	箇所	46	
			固定金具設置工	250A	箇所	3	
			リングサポート取付工	250A	箇所	3	
			防護コンクリート工		箇所	1	
	管きよ更生工				式	1	
		更生材料			式	1	
			シールホース	繊維層+補強層+被覆樹脂 φ250 厚さ5.5mm	m	15.3	管材費を含む WHX同等品以上

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			硬化性樹脂	2液混合型 エポキシ樹脂	Kg	73	管材費を含む
			管端リング	φ250 SUS304	個	2	管材費を含む
		管きよ内面被覆工 (反転・形成工法)			式	1	
			管内清掃		スパン	1	
			接着剤注入塗布		スパン	1	
			反転挿入		スパン	1	
			加熱養生		スパン	1	
			気密金具撤去		箇所	2	
			管端処理		箇所	2	
		共通仮設費			式	1	
		運搬費			式	1	
			特殊機械回送費		式	1	
		役務費			式	1	
			足場使用料		式	1	10日間 213,790円
		技術管理費			式	1	

数量計算書				
バブル2 (工種)	バブル3 (種別)	バブル4 (細別)	バブル5 (規格及び数量)	単位 数量
管きよ添架工	材料	両ベベル直管	250A×1500L	本 1.0
		両ベベル直管	250A×4000L 埋設用 外面ポリウレタン被覆	本 1.0
		両ベベル直管	250A×4000L	本 40.0
		両ベベル直管	250A×3800L	本 2.0
		空気弁座付両ベベル直管	250A×80A×4000L×290H	本 1.0
		片ベベル片メカ挿短管	250A×1300L GX型 埋設用 外面ポリウレタン被覆	本 1.0
		伸縮管	250A×1000L 常時±40 地震時±210	個 2.0
		伸縮管	250A×850L 常時±60	個 2.0
		不凍急排空気弁	φ25	基 1.0
		可動金具	250A用	組 46.0
		Uボルト、ナット	250A用 絶縁スリーブ、絶縁ワッシャー含む	組 46.0
		固定金具	250A用	組 3.0
		リングサポート	250A用	組 3.0

数量計算法				
バブル2 (工種)	バブル3 (種別)	バブル4 (細別)	バブル5 (規格及び数量)	数量
管添架工	鋼管架設工	250A		182.1
		L = 182.100 - 4.000 - 1.300 =	176.800	176.8
		250A		50.0
		250A 熱収縮系タイプ		1.0
		250A		4.0
		φ25		1.0
		250A		46.0
		250A		3.0
		250A		3.0
		橋梁取付詳細図より		1.0
		コンクリート18-8-25BB		0.15 m3
		型枠		0.51 m2
		無収縮モルタル		0.11 m3

数量計算法					
バブル2 (工種)	バブル3 (種別)	バブル4 (細別)	バブル5 (規格及び数量)	単位 数量	
管きよ更生工 共通仮設費	更生材料 管きよ内面被覆工 (反転・形成工法)	シールホース	φ250 厚さ5.5mm	m	15.3
		硬化性樹脂	2液混合型エポキシ樹脂	Kg	72.5
		管端リング	φ250 SUS316	個	2.0
		管内清掃	φ250 高圧洗浄	スパン	1.0
		接着剤注入塗布	φ250	スパン	1.0
		反転挿入	φ250	スパン	1.0
		加熱養生		スパン	1.0
		気密金具撤去		箇所	2.0
		管端処理		箇所	2.0
		運搬費	特殊機械回送費(事前調査)		式

数量計算法				
バ`12 (工種)	バ`13 (種別)	バ`14 (細別)	バ`15 (規格及び数量)	単位 数量
	役務費	足場使用料	特殊機械回送費(管きよ更生時) 10日間×21,379円/日=213,790円	式 1.0
	技術管理費	溶接部X線検査 TVカメラ調査	50口^(1/2)=7.07枚以上 8枚 φ250(事前調査、管きよ更生施工後)	枚 2.0

特記仕様書(管きよ添架工)

第1章 総 則

1-1 適用範囲

本特記仕様書は、香良洲橋における水管橋架設工事に適用する。

1-2 工事場所

津市香良洲町及び雲出伊倉津町地内

1-3 工事概要

形 式	橋梁添架形式
河 川 名	一級河川雲出川水系雲出川及び雲出古川
通 水 管 管 径	250A (SUS316)
管 厚	6.5mm (Sch20S)
添 架 長	L=182.1m
水管橋付属品	① 空気弁 不凍急排型 φ25 ② 伸縮管 (ベローズ) 250A

1-4 適用規格・準拠基準

施工に際しては本特記仕様書、設計図書によるほか、次の基準にも準拠すること。

- (1) 日本産業規格 (JIS)
- (2) 水管橋設計基準、他 WSP 各技術基準 (WSP 日本水道鋼管協会)
- (3) 道路橋示方書 (日本道路協会)
- (4) 水道施設設計指針、他 JWWA 各技術基準 (JWWA 日本水道協会)
- (5) 水門鉄管技術基準 (水門鉄管協会)
- (6) 河川管理施設等構造令 (国土交通省)

1-5 承認図書の提出

次の図書を指示した様式により、定められた期日までに提出すること。

- (1) 材料承認申請図書
- (2) その他監督員の要求する書類

1-6 完成図書の提出

工事完了後、次の書類を監督職員の指示した様式により定められた期日までに提出すること。

- (1) 鋼材規格合格証明書 (ミルシート)
- (2) X線検査成績書及びフィルム
- (3) 購入品試験、検査成績書
- (4) その他監督員の要求する書類

第2章 材 料

本工事に使用する材料は、すべて日本工業規格に適合した次のものとする。

2-1 材 料

種 別	規 格	記 号
通水管 メカ挿し	配管用ステンレス鋼鋼管 (JIS G 3459)	SUS316TP
	機械構造用ステンレス鋼鋼管 (JIS G 3446)	SUS316
リフトポート	熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 (JIS G 4304)	SUS316
取付金具等	一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)	SS400
	等辺山形鋼 (JIS G 3192)	SS400
	溝形鋼 (JIS G 3192)	

名 称	規 格 又 は 寸 法 仕 様
伸 縮 管	ベローズ型 250A 常時±40mm,地震時±210mm
	ベローズ型 250A 常時±60
空 気 弁	不凍急排型 φ25

埋設部 ポリウレタン被覆

塗 料 名	目 標 膜 厚	備 考
エポキシプライマ又はポリウレタンプライマ ポリウレタン被覆(JIS G 3443-3、JWWA K 151)	2.0mm+∞ -0.5mm	色は黒色とする
水道用液状エポキシ樹脂塗装(JWWA K 157)	0.3mm 以上	塗料色

2-2 そ の 他

本仕様書、図面に明記されていない材料は、原則として日本産業規格に適合しているものを使用すること。

2-3 溶 接 棒

種 類	名 称	規 格
手溶接	ステンレス鋼被覆アーク溶接棒	JIS Z 3221
	軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用被覆アーク溶接棒	JIS Z 3211
半自動溶接	ステンレス鋼アーク溶接フラックス入りワイヤ及び溶加棒	JIS Z 3323
	軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用のマグ溶接及びミグ溶接リットワイヤ	JIS Z 3312
	軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用アーク溶接フラックス入りワイヤ	JIS Z 3313
ティグ溶接	溶接用ステンレス鋼溶加棒,リットワイヤ及び鋼帯	JIS Z 3321
	軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用ティグ溶接溶加棒及びリットワイヤ	JIS Z 3316

第3章 製作

3-1 一般事項

製作にあたっては本特記仕様書並びに共通仕様書に準ずるほか、承諾された図面に忠実に従い施工しなければならない。

3-2 製作

(1) 原寸

製作に着手する前に必要な部分の原寸図（又は電算作画）を作成し、設計図の不備や製作、組立上の支障がないか確認すること。

(2) カッテングプラン

原寸計算完了後、カッテングプランを作成しなければならない。なおカッテングプランには引当材料寸法、マーク、開先等を記入し、あらかじめ溶接縮代を見込むものとする。

(3) 罫書き

罫書きにあたっては使用鋼材の寸法・表面きず・くぼみ等の欠陥のないことを確認したのち、カッテングプランに基づいて行うものとする。

(4) 切断

鋼板及び型鋼の切断は原則としてプラズマ切断、レーザー切断又はバンドソー切断により行うものとする。鋼管の切断には、バンドソー切断又はプラズマ切断とし、接続部のルート間隔が適正に保持できるように慎重に行い、開先はグラインダ等にて規定の開先になるように仕上げる。

(5) 鋼板の曲げ加工

鋼板の曲げ加工の有る場合は、油圧プレス又は油圧式ベンディングローラーにより正確に行うものとする。

材料切断後及び曲げ加工後の歪取りは、油圧プレス又は線条加熱法により行うものとする。

(6) 孔あけ

所定の径に孔あけする場合は、ドリル又はドリルとリーマ通しの併用により行うものとする。

(7) 溶接

(イ) 本工事に従事する溶接工は JIS Z 3801（手溶接技術検定における試験方法及びその判定基準）及び JIS Z 3821（ステンレス鋼溶接技術検定における試験方法及びその判定基準）に規定された試験合格者等でなければならない。

(ロ) 溶接部は十分に乾燥し、かつ赤錆・油類・その他有害なものを完全に除去し清掃の上作業を行うものとする。

(ハ) 部材の組立に際しての溶接順序は、変形あるいは残留応力の発生に充分注意すること。又、その形状を正しく保つよう最小限の治具並びに固定具を適切に使用して施工しなければならない。

(ニ) 溶接作業は原則として気温が 5℃以下の場合、施工してはならない。

第4章 据 付

4-1 一般事項

- (1) 工事中用仮設電源設備及び電力料は、すべて請負者の負担とする。
- (2) 架設時、鋼管及び橋梁本体を損傷しないよう十分注意して施工しなければならない。
- (3) 現場架設基準（W S P）に記載されている架設方法を基準とする。

4-2 現場溶接

- (1) 本工事に従事する溶接工は JIS Z 3801（手溶接技術検定における試験方法及びその判定基準）及び JIS Z 3821（ステンレス鋼溶接技術検定における試験方法及びその判定基準）の資格試験に合格したものでこの種の溶接に最も適した者でなければならない。
- (2) 原則として、次の条件下における現場溶接作業は行わないものとする。
 - (イ) 雨天、または作業中に雨天となるおそれのある場合。
 - (ロ) 雨上がり直後
 - (ハ) 強風などでほこりの多いとき
 - (ニ) 気温が 5℃以下の場合
 - (ホ) 湿度 85%以上のとき

第5章 試験及び検査

5-1 一般事項

工場及び検査項目は次に示す通りとし、これに要する費用はすべて請負者の負担にて行うものとする。

5-2 試験及び検査

- (1) 材料検査（書類検査）

鋼材は化学分析試験及び機械的試験等の結果が記入された規格合格証明書（ミルシート）を提出すること。鋼材の板厚及び管径等の寸法許容差は、すべて JIS 規格寸法の許容差に準ずるものとする。
- (2) 原寸検査（現場検査）

図面の寸法通りに原寸図（又は、電算作画）に対し、製作、架設並びに図面上における不具合等がないかの検査を行う。但し、電算機による作画の場合はこれを省略することができる。
- (3) 溶接部検査（書類・現場検査）
 - (イ) 溶接部外観及び寸法検査
溶接部は気泡、亀裂、オーバーラップ等の有害な欠陥のないことを確認しなければならない。
 - (ロ) 放射線透過試験（X線検査工）
本管の突合せ溶接部は、1継手につき1枚の放射線透過試験を行うもの

とする。

試験の方法及び判定の基準は JIS Z 3106 「ステンレス鋼溶接部の放射線透過試験方法及び透過写真の等級分類方法」により、判定は3類以上を合格とする。

撮影頻度（添架管 5口以上 99口以下より）

$$n^{(1/2)} = 50^{(1/2)} = 7.07 \approx 8 \text{ 箇所以上}$$

ここで、現地溶接口数：50口

(4) 部材寸法精度（現場検査）

本管の各部寸法許容差は、特に指定がない限り次によるものとする。

(イ) 管厚 JIS の規定寸法許容差による。

(ロ) 外径 JIS の規定寸法許容差による。

(ハ) 管長 $-0 \sim +10\text{mmD}$

(5) 被覆の検査

被覆の検査は下記項目について行う。検査の詳細はWSP技術基準に準ずる。

(イ) 外観

被覆が硬化乾燥後、かすれ、たれ、割れ、剝離などの有害な欠陥がないことを全数目視で検査する。

(ロ) 被覆厚さ

被覆が硬化乾燥後、平均厚さが目標膜厚以上であることを、両管端部及び中央部の円周方向4点について電磁微厚計などで測定する。

(ハ) ピンホール

被覆が硬化乾燥後、ピンホールがないことを全数、全面ピンホール探知器によって検査する。

水道用液状エポキシ樹脂塗装： 電圧 1.2～1.5kV

ポリウレタン被覆： 電圧 8～10kV

第6章 検査

添架後に足場等が取り外すため、橋梁部における検査方法、検査時期について監督員の指示に従うこと。

特記仕様書(管きょ更生工)

1 施工工法

施工工法は、日本ホースライニング協会のシールホース反転装置によるホースライニング工法とする。ただし、受注者の提案工法が妥当と認められれば、これを承認する。なお、施工工法が発注の工法と異なっても設計変更の対象としない。

2 シールホース・硬化剤及び接着剤の取扱い

シールホース、硬化剤及び接着剤の取扱いについては、労働安全衛生法及び労働安全衛生規則の適用条項を守り、作業環境の整備、作業方法の改善、業務に従事する者の健康管理並びに安全対策を講ずるとともに、必要に応じて、その内容などを監督員へ報告すること。

3 機器取扱作業主任者等

既設管の清掃、シールホース反転挿入車などのオペレーターは、日本ホースライニング協会上水道会の認定する者、又は実務経験者(他都市における経験を含む。)とし、監督員の承諾を得るものとする。

4 管の清掃

既設管内の錆は、スクレーパー、ワイヤーブラシ、スワッパなどのクリーニング治具を牽引し、さらに高圧洗浄車(ジェット)を使用し完全に除去すること。管内で発生した濁水は、受注者が責任を持って処分すること。また、清掃作業完了後に目視及びテレビカメラにて確認すること。

5 シールホース反転挿入・装着

1 シールホースは、ホースライニング工法(上水道)技術資料(日本ホースライニング協会)に基づいて製作したものを使用し、内外圧対応型WHXタイプと同等品以上でその品質保持に十分留意すること。

2 接着剤は、接着性、防水性に優れたもの[JWWA K 138(送・配水管更生用無溶剤型二液エポキシ樹脂塗装)に適合したもの]で、接着剤と硬化剤の混合は十分に行い、品質保持のため、温度、可使時間などの管理を十分行うこと。

なお、工場で接着剤と硬化剤を混合する場合は、施工場所までの運搬時間、気温などを考慮して管理すること。

3 シールホース反転挿入・装着に際しては、反転圧力、反転速度など最適な条件のもと、きめ細かな施工管理を行い、直線部では、しわ、ふくれなどを発生させないこと。

6 シールホース反転挿入後の養生

1 シールホース反転挿入後は、自然硬化養生若しくは蒸気による硬化促進養生を行うものとし、接着剤が所定の硬度に達するまで養生圧力を保持すること。特に、外気温、口径などの条件を考慮のうえ、養生圧力、温度、時間などに注意し、十分な管理のもとで養生すること。

2 蒸気による硬化促進養生を行った場合は、硬化確認後に、空気冷却、又は水冷却をして一定温度以下に下げるものとする。

なお、蒸気による養生を行う場合は、80℃を超えないように温度管理を行うこと。

7 管端処理

1 ホースライニング管の管端はライニング材の損傷を防止するため、管端処理を行うこと。

2 施工においては、管端部のシールホースを損傷することなく切断し、管端リングを管内面に密着させ、シールホースのはがれ、ふくれなどの防止を行うものとする。

8 作業日報の提出

管更生工事の1スパンごとに作業工程時間などを記録した作業日報を監督員に提出すること。

9 検査

1 監督員の立会いのうえ目視検査を行うとともに、下記項目について施工管理報告書を監督員に提出すること。

- (1)接着剤の塗布量
- (2)反転圧力及び速度
- (3)養生時間、圧力及び加熱養生の場合は温度も含む
- (4)試験成績書（シールホース、接着剤）

2 TVカメラ調査工については、クリーニング完了後とホースライニング完了後の2回、管内のカラーテレビカメラ検査を行い、DVDを監督員に提出すること。

3 検査結果により接着不良、口径縮小、水質異常などが発見され、そのことが起因して正常な給水が著しく阻害される場合は、布設替を命じることがある。なお、この布設替に要する費用は、すべて受注者の負担とする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
共通	共通	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の施工にあたっては、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に準じて行うものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約款、図面及び別紙特記仕様書（施工条件明示一覧表）並びに特記事項は、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に優先する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 本工事はすべて設計図書（図面、仕様書並びに現場説明書及び現場説明を含む）によるほか、津市契約規則及び津市建設工事執行規則により執行する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書において疑義が生じた場合は監督員の指示による。
	施工計画	<input checked="" type="checkbox"/> 品質及び出来形の基準値・規格値について、三重県公共工事共通仕様書で定めのない工種は、監督員との協議による。
		<input checked="" type="checkbox"/> 選任を必要とする作業においては、作業主任者等を配置し、必要な資格者一覧を作成するとともに免許の写しを提出するものとする。
		<input checked="" type="checkbox"/> 工事中の安全確保のため、労働安全に結びつく労働者が保有する資格者（クレーン運転士、玉掛作業者など）の一覧を作成しその資格証の写しを提出するものとする。
	施工体制台帳	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。
		<input type="checkbox"/> 施工前に、基準点、KBM、縦横断面及び工事区間内における境界の確認測量を行い、その結果、設計図書と差異が生じている場合には監督員に報告するものとする。
	工事測量	<input checked="" type="checkbox"/> 工事区間内の境界は、受注者の責任において原形復旧できる資料を作成、保存し、調査資料は監督員へ1部提出するものとする。
<input checked="" type="checkbox"/> 契約書、設計書及び仕様書に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担で処理するものとする。		
施工	<input type="checkbox"/> 工事中（養生中を含む）の隣接家屋の乗り入れについては、所有者と十分に協議の上、必要に応じ、鉄板等にて対応するものとする。	
	<input type="checkbox"/> 排水構造物の施工については、常時通水可能な状態を確保し、異常時には臨機の措置を講じるものとする。	
工程	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の工期は、休日、雨天のほか、社会的制約条件による要因を考慮してのものである。	
	<input type="checkbox"/> 施工前、ゴミ置場等施工上移設が生じる場合は、所有者、関係自治会等調整し移設場所を確定し、回覧等により周知徹底を行うものとする。他の物件で移設が生じる場合も、同様の扱いとする。	
工程 関係機関協議	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事着手前はもとより、工事期間中を通じて、必要の都度、工事内容を地元住民及び通行人等関係者に周知し、工事への協力を求めるための文書を配布するなど必要な措置を講ずるものとする。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物の対応について、各管理者と監督員の立会のもと、試掘調査を行うものとする。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工箇所付近に占用物件が予想される場合には、工事施工に先立って地下埋設（上空占用を含む）の詳細情報を関係機関から調査収集し、受注者より各管理者と現地立会を行うなど、施工に際し十分に協議確認を行うものとする。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物及び上空占用物を誤って切断した場合の緊急時の対策として、必ず監督員まで詳細を報告し、速やかに関係機関へ連絡を取るとともに周辺住民に対しても適切な処置を行うものとする。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他の工事等と重複する場合も考えられるため、施工時期や交通規制等に綿密な調整を図り、十分な配慮をもって施工するものとする。	
官公庁への手続き等	<input checked="" type="checkbox"/> 交通障害に伴う道路使用許可の手続き、消防への工事届出等を速やかに行うものとする。なお、道路使用許可申請にかかる手数料は、受注者の負担とする。	

（注）上記条件及び内容の印刷当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
<p>用地・補償関係</p>	<p>事業損失</p>	<p>□ 家屋事前調査は、調査前に対象住民への周知を行い、調査後に工事着手するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し、監督員に報告するものとする。ただし、その内容によっては、市と受注者が協議し、市が処理する場合もある。</p>
	<p>民地の保全</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鉄、プレート等）が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事により境界杭等が破損、亡失した場合は、工事完了後復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。</p>
<p>安全対策</p>	<p>工事中の安全確保</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 施工箇所において、通学路であった場合は、対象の学校と十分協議をし、工程の調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 資機材の搬出入と通行時間は適切な時間帯に行い、沿線住民等への周知を図るものとする。これにより難しい場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 地山掘削・床掘時は、既設構造物に損傷が出ないように、適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対処するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 図示してある掘削及び床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況、地下水等を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。 <input type="checkbox"/> 工種（ ）において、施工日の即日開放を原則とする。 <input type="checkbox"/> 工種（ ）において、事前に（ 警察署）と立会を行い、確認後、施工を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場にて使用する各種建設機械は、持込者や点検・整備・維持管理状況が把握できるよう、受注者において書類により整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場において設置する仮設工は、設置完了時や使用中の点検及び管理についてチェックリスト等を活用して実施・整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場代理人は、豪雨、出水、その他の天災に対しては、平素から気象情報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておくものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所はその日のうちに補修を行うものとする。</p>
<p>交通安全管理</p>	<p>交通安全管理</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差点道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者（以下「交通誘導警備員」という）を配置し、公衆の交通の安全を確保するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員のうち1人は有資格者（平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかる1級又は2級検定合格者）または、交通の誘導・整理の実務経験3年以上の者を配置するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、交通誘導警備員を雇用するにあたり、その警備会社と雇用期間中等労働条件並びに傷害保険等に関する契約書を締結し、その契約書（写し）を監督員に提出すること。また、交通誘導警備員の配置者一覧表（資格・実務経験年数を明示したもの）及び配置者名の明記された伝票を監督員へ提示するものとする（但し、監督員が提出を求めた場合は提出するものとする）。 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員に一日一日の工事（どこまで進入できるか等）を十分把握させ、地元車両の出入り等、交通整理に円滑な処置がとれるものとする。</p>

（注）上記条件及び内容の印刷当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
環境対策	環境対策	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に防塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 土粒子を多量に含み、排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂または濾過施設を通して放流するものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者は産業廃棄物の処理を委託する際、運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者等と、それぞれ個別に直接契約し、その契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提示もしくは提出すること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）は産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供し、また受注者は、処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員が提示を求めた場合は提示するものとする。</p>
資料作成	提出書類	<p><input checked="" type="checkbox"/> 工事日誌については、監督員が指示した場合、提出するものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書の提出部数は2部とする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料を受注者の責任と費用負担において整備し、使用前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。</p> <p>・アスファルト混合物（事前認定審査を受けた混合物の認定書の写し）、生コンクリート（製造会社の材料試験結果、配合の決定に関する確認資料）、購入土、砕石（新材）等</p> <p>※その他材料に関する資料についても原則、全て提出するものとするが、主たる材料以外で使用量が少量の場合は資料の提出について監督員と協議できるものとする。</p>
	部分下請負通知書	<p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の一部において下請負させる場合は、全て部分下請負通知書を当該下請負業者の施工開始日までに監督員に提出するものとする。部分下請負通知書には下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業者等と読み替え、下請業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定建設業者で下請負金額の総額が、建設法第3条第1項第2号の政令で定める金額以上の場合、受注者は、本工事をつかさどる監理技術者の資格証明書の写しを提出するものと</p>
支払いに関する事項	前金支払いに関する事項	<p><input checked="" type="checkbox"/> 請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めるときは、契約金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。</p>

(注)上記条件及び内容の印刷当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）												
その他	名札	<p><input checked="" type="checkbox"/> 発注者は、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。</p> <p style="text-align: center;">＜名札の例＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">主任・監理技術者</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">写 真</td> <td style="padding: 2px;">氏 名</td> <td style="padding: 2px;">〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2cm×3cm 程度</td> <td style="padding: 2px;">工 事 名</td> <td style="padding: 2px;">〇〇〇〇工事</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 2px;">工 期</td> <td style="padding: 2px;">自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 2px;">会 社</td> <td style="padding: 2px;">〇〇建設株式会社 印</td> </tr> </table> </div> <p>注1）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 注2）所属会社の社印とする。</p>	写 真	氏 名	〇〇 〇〇	2cm×3cm 程度	工 事 名	〇〇〇〇工事		工 期	自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日		会 社	〇〇建設株式会社 印
写 真	氏 名	〇〇 〇〇												
2cm×3cm 程度	工 事 名	〇〇〇〇工事												
	工 期	自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日												
	会 社	〇〇建設株式会社 印												
	部分使用	<input type="checkbox"/> 部分使用箇所（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用時期（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用目的（ ）												
	部分引渡し	<input type="checkbox"/> 部分引渡し指定部分（ 別途説明書に記載 ） <input type="checkbox"/> 部分引渡し時期（ ）												
	巡回	<input checked="" type="checkbox"/> 当工事（修繕）は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等を行う現場パトロールを行うことがある。												
	その他	<input type="checkbox"/>												

（注）上記条件及び内容の印刷当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市上下水道事業局指定材料規格一覧表

品名	形状及び種類	形状寸法	規格	摘要
ダクタイル鋳鉄管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	K形1種管	Φ75～Φ350	JIS G5526	
	K形2種管	Φ400以上	JWWA G113 G112	
	NS形1種管	Φ75～Φ250		
	GX形1種管	Φ75～Φ250	JWWA G120	
ダクタイル鋳鉄異形管 (内面エポキシ粉体樹脂塗装)	K形1種管	Φ75～Φ350	JIS G5527	
	K形2種管	Φ400以上	JWWA G114	
	NS形1種管	Φ75～Φ250		
	GX形1種管	Φ75～Φ250	JWWA G121	
ダクタイル鋳鉄管及び異形管接合部品	K形・NS形・GX形	Φ75～	JIS G5526 G5527 JWWA G113 G114 JWWA G120 G121	
特殊押輪	メカニカル形		規格外	
ポリエチレン二層管		Φ13～Φ50	JIS K6762	
硬質塩化ビニール管		Φ13～Φ50	JIS K6742	
硬質塩化ビニールライニング鋼管	SGP-VA	Φ13～Φ100	JWWA K116	
	SGP-VD	Φ13～Φ100		
ポリエチレン管継手		Φ13～Φ50	JWWA B116準拠	ワンタッチ方式(分解可)
硬質塩化ビニール管継手	TS・HI	Φ13～Φ50	JIS K6743	
エポキシ樹脂コーティング管継手	SGP-VA	Φ13～Φ100	JWWA K117	
	SGP-VD	Φ13～Φ100		
スリースバルブ(ゲート)	1.0MPa	Φ25～Φ100	JIS B2011	丸ハンドル
砲金製 仕切弁	1.0MPa	Φ13～Φ50		丸ハンドル
ソフトシール弁	FCD 0.74MPa	Φ75～Φ300	JWWA B120(ショート型)	K形 右開き
		Φ350・Φ400	JWWA B120	
耐震型ソフトシール弁	FCD 0.74MPa	Φ75～Φ300	JWWA B120 G114 準拠	NS形 右開き
		Φ350・Φ400	JWWA B120 G114 準拠	
甲止水栓		Φ13～Φ25	JWWA B108準拠	逆流防止機能型
直結止水栓(Tハンドル離脱式)	伸縮・盗水防止型	Φ13～Φ25	JWWA B108準拠	逆流防止機能型・T型ハンドル共
特殊継手		Φ75～Φ300		CAジョイント
特殊継手		Φ75～Φ200		VAジョイント
特殊継手		Φ75～Φ200		VCジョイント
特殊継手		φ13～φ50		SKソケット
ポリエチレンスリーブ		Φ75～Φ800	JWWA K158	
埋設標識シート	ダブル折り	幅150		
インサートコア	銅	Φ20・Φ25		サドル付き分水栓と同メーカー
サドル付き分水栓	FCD	本管×Φ13～Φ25	JWWA B117	
サドル付き分水栓		本管×Φ13～Φ25	JWWA B136	
不断水丁字管分水栓	内ネジ式	本管×Φ50		
不断水T字管	FCD・バルブ付・全周パッキン			
不断水T字管	FCD・全周パッキン			
不断水仕切弁	FCD・全周パッキン			
消火栓(ステンレス製 浅層対応)	SUS 0.74MPa	単口地下式		
消火栓(内外面粉体塗装)	FCD 0.74MPa	単口地下式	JWWAB103	
消火栓(内外面粉体塗装 浅層対応)	FCD 0.74MPa	単口地下式	JWWAB103	
消火栓弁	FCD 0.74MPa	φ65×90°		仮配管用
排気弁付消火栓(内外面粉体塗装)	FCD 0.74MPa	単口地下式		
空気弁(粉体塗装)	FCD 0.74MPa	単口 φ13～φ25	JWWA B137	
空気弁(粉体塗装)	FCD 0.74MPa	双口75・100	JWWA B137	
補修弁(内外面粉体塗装) (レバー式)	FCD 0.74MPa	φ75×100～400	JWWA B126	
仕切弁筐・排泥弁筐	蓋FCD	24型・32型	JWWA B132	
仕切弁スラブ		60・80・100		
仕切弁ブロック		(25～32)B-1～30		
仕切弁ブロック		(25～45)C-10～30(凹)		
消火栓筐	蓋FCD	35×55、丸型	JWWAB133	
消火栓ブロック		B-1～20、丸型用中部壁		
消火栓ブロック		C-20・30、丸型用下部壁		
消火栓スラブ		90、丸型用スラブ		
止水栓筐		φ75×300・600		
フランジボルトナット	SUS403	M16～M30		

*鉛の新基準に適合した認証品を使用すること。

設計図書等の単位及び記号

本工事の設計図書は、下記の項目について統一するため、十分理解し完成図書等においても統一を図ること。

(単位の統一)

- 1 材料規格は、すべてmm単位とする。
- 2 距離、延長は、すべてm単位とする。
- 3 断面等の寸法は、すべてmm単位とする。
- 4 口径は、φで表す。(数字の前へ記入)

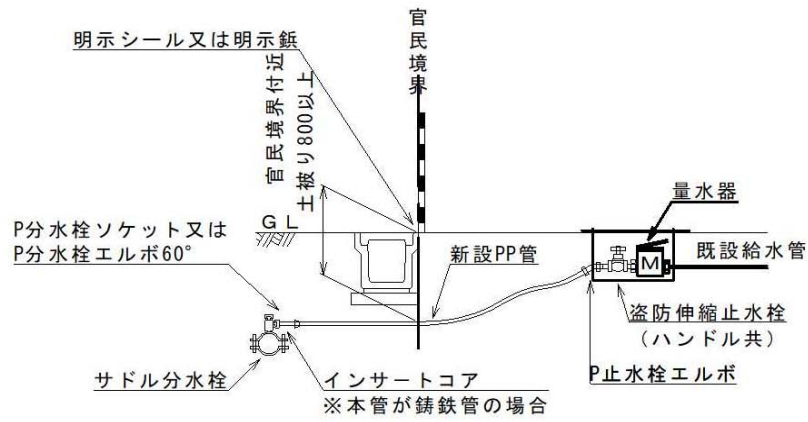
(記号の統一)

名 称	G X 形	N S 形	K 形
ダクタイル鑄鉄管			
受 口			
甲 切 管			
乙 切 管			
三 受 十 字 管			
二 受 丁 字 管			
継 ぎ 輪			
フ ラ ン ジ 形			
曲 管			
フ ラ ン ジ 付 き 丁 字 管			
受 挿 し 片 落 管			
挿 し 受 片 落 管			
短 管 1 号			
短 管 2 号			
栓			
特 殊 付 属 品			

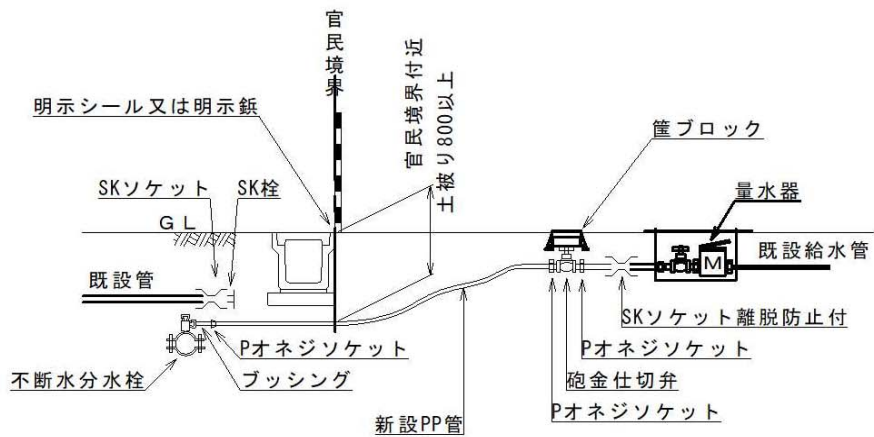
名 称	
地 下 式 消 火 栓	
特 殊 継 手	
ソ フ ト シ ー ル 弁	
バ タ フ ラ イ 弁	
不 断 水 仕 切 弁	
不 断 水 丁 字 管	
補 修 弁	

給水切替工標準図

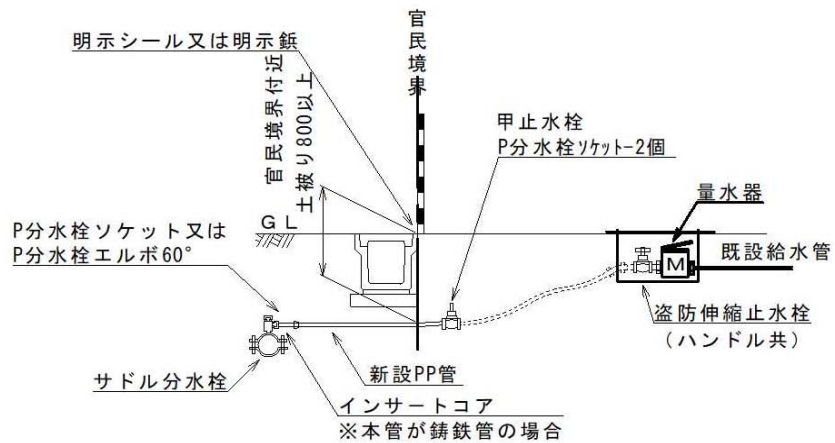
給水管口径φ25mm以下



給水管口径φ30mm以上

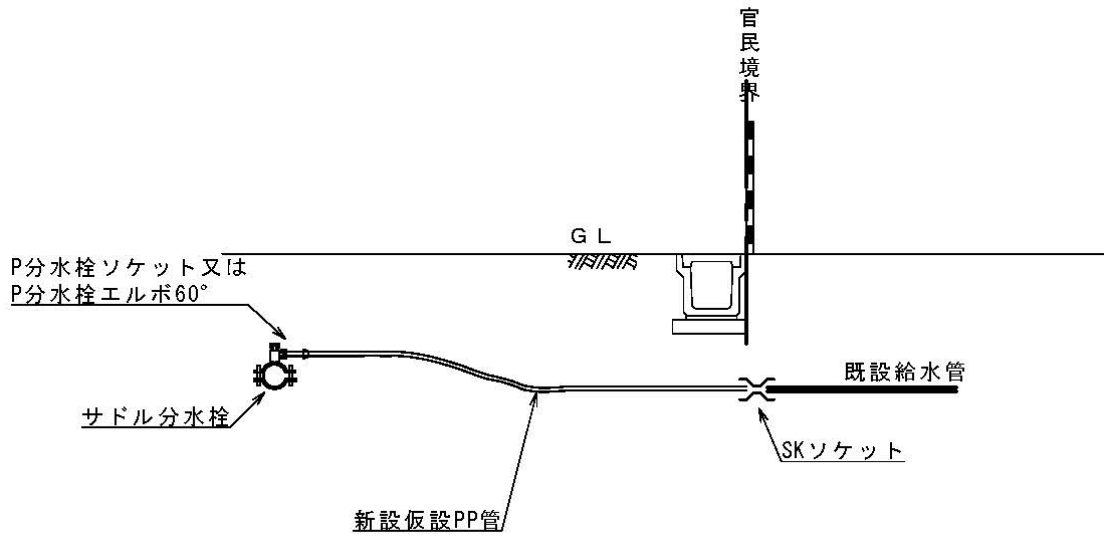


給水管口径φ25mm以下
(止水栓設置の場合)

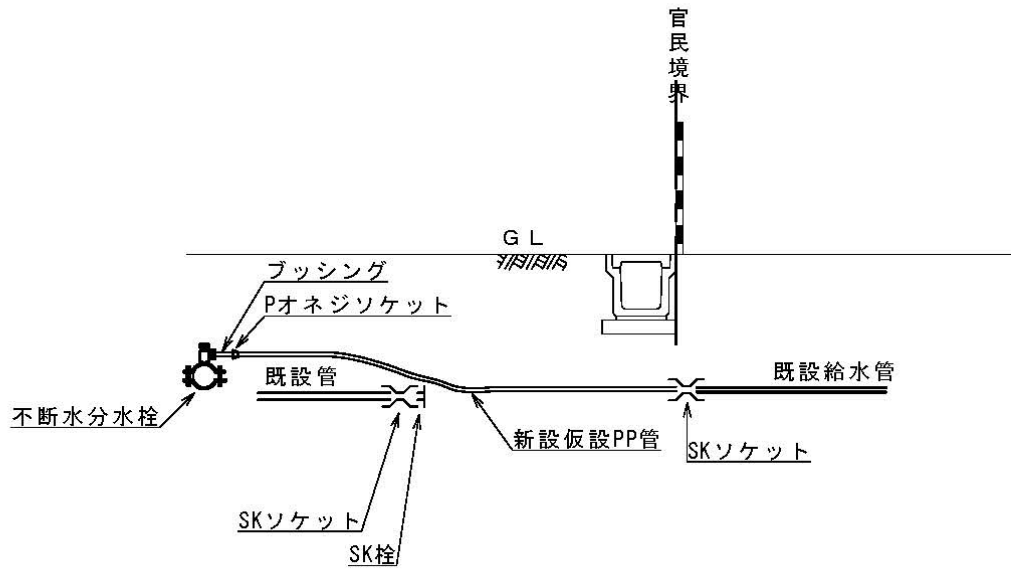


仮設給水切替工標準図

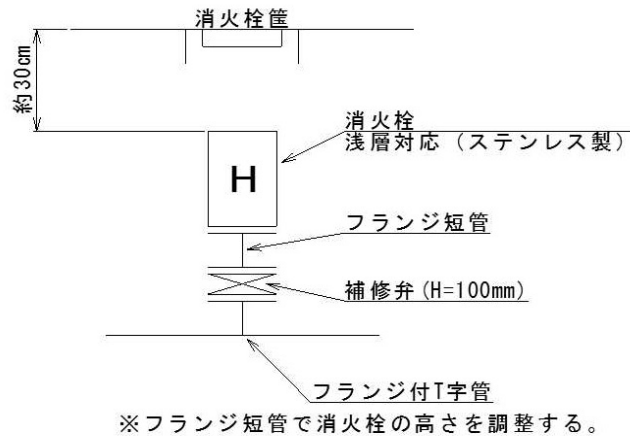
給水管口径 $\phi 25\text{mm}$ 以下



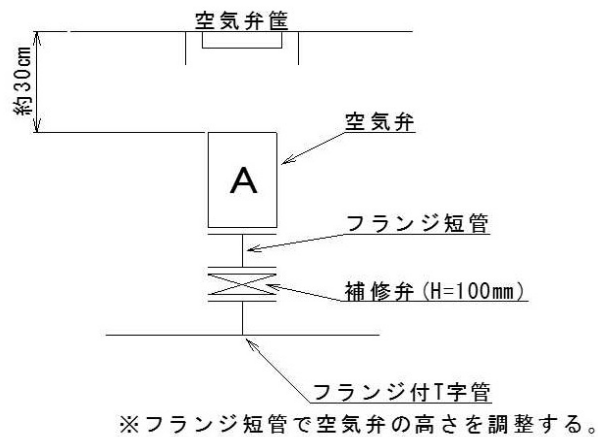
給水管口径 $\phi 30\text{mm}$ 以上



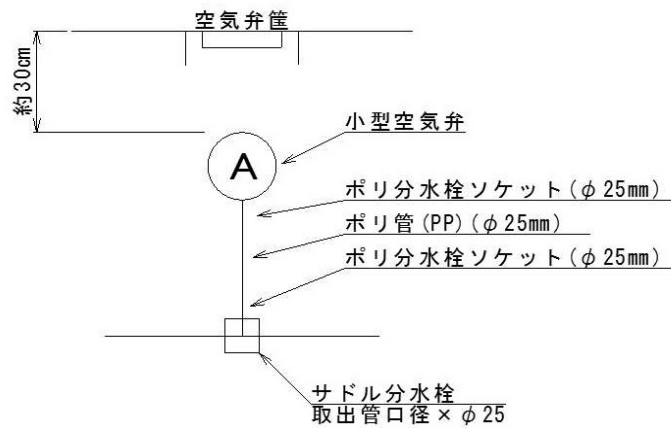
消火栓設置標準図



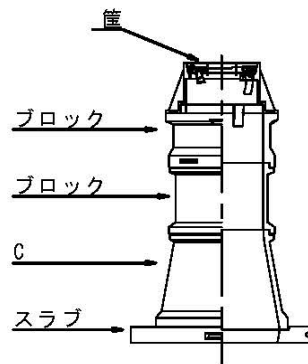
空気弁設置標準図



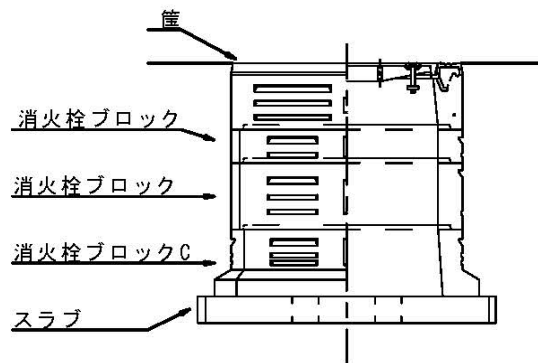
小型空気弁設置標準図



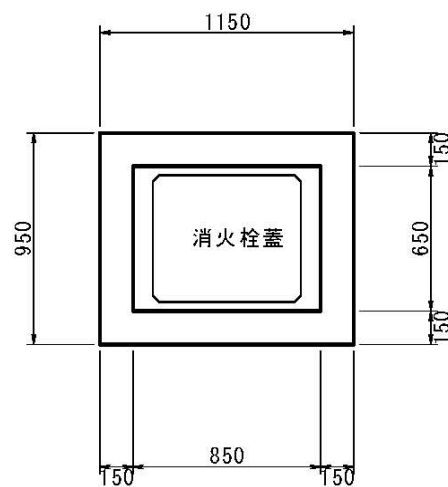
ソフトシーリング弁・砲金仕切弁・スリースバルブ 筐標準図



消火栓筐標準図



消火栓設置部において、以下の路面標示を施工。



橙 実線 W=0.15m

筐ブロック設置基準

ソフトシール弁（本設 φ75～150mm）

土被り	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5
筐	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
B-10			1			1			1	
B-20				1			1			1
B-30					1	1	1	2	2	2
C-30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
スラブ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

ソフトシール弁（本設 φ200mm）

土被り	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5
筐	1	1	1	1	1	1
B-10			1			1
B-20	1			1		
B-30		1	1	1	2	2
25C-10凹	1	1	1	1	1	1
32C-30	1	1	1	1	1	1
スラブ-80	1	1	1	1	1	1

ソフトシール弁（本設 φ250～300mm）

土被り	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5
筐	1	1	1	1	1	1	1
B-5	1	1	1	1	1	1	1
B-10			1			1	
B-20				1			1
B-30					1	1	1
25C-10凹		1	1	1	1	1	1
32C-15凹		1	1	1	1	1	1
45C	1	1	1	1	1	1	1
スラブ-100	1	1	1	1	1	1	1

砲金仕切弁・スリースバルブ（本設）

土被り	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5
筐	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
B-10		1			1			1		
B-20			1			1			1	
B-30				1	1	1	2	2	2	3
C-30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
スラブ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

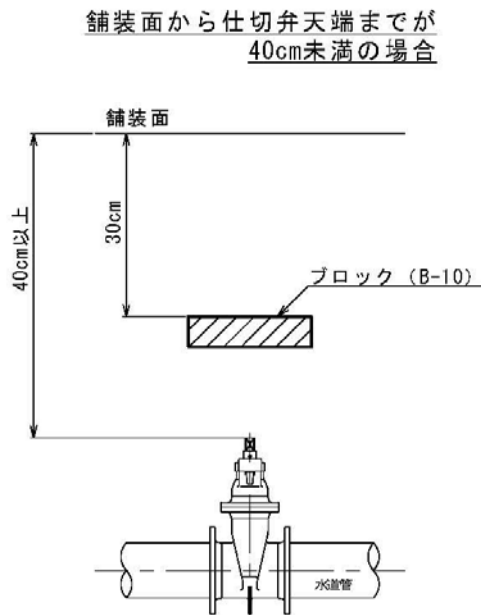
消火栓（本設）

土被り	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5
筐	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
B-10		1		1		1		1		1
B-20			1	1	2	2	3	3	4	4
C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
スラブ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

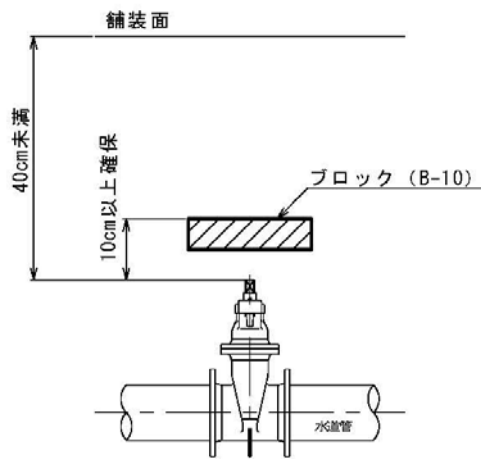
注意事項

- 1: 同工事で舗装本復旧を行い、舗装天端高が変更となる場合は、上記の基準に嵩上げ等を行うこと。
- 2: 標準ブロックでの設置が困難な場合、又は安全上必要と思われる場合等は、工事打合せ簿を提出し、監督員の承諾を得ること。
- 3: 1、2、管布設高を変更した場合、又は既設管埋設深が異なっていた場合は、変更設計時の精算対象とする。
- 4: 仮設仕切弁（埋設）の場合は、原則として仕切弁筐のみ、仮設消火栓（埋設）の場合は、消火栓筐及びスラブのみ設置することとする。
- 5: 泥吐け工に使用する仕切弁筐（鉄蓋）は、「排泥弁用」を使用すること。ただし、予定線等を仮泥吐工として使用する場合は通常のものとし、設置する向きは、本管の向きとする。

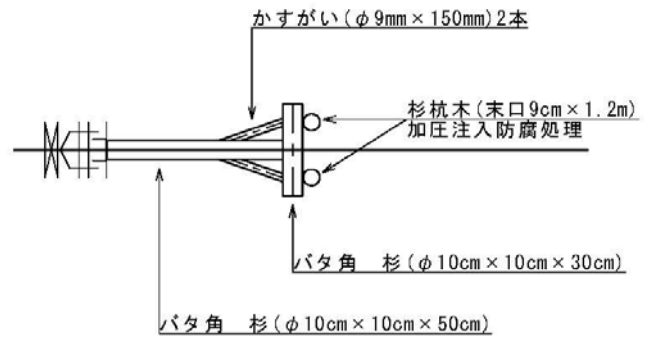
仕切弁防護工標準図



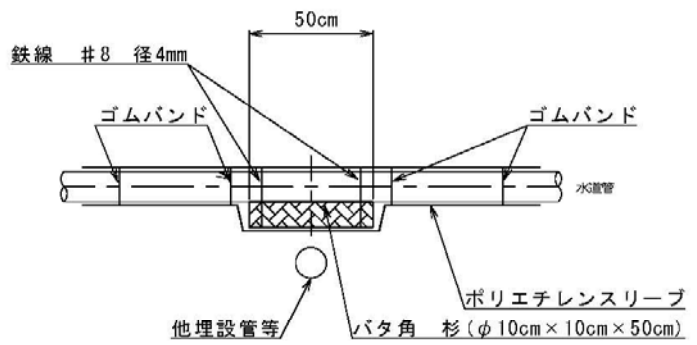
舗装面から仕切弁天端までが
40cm未満の場合



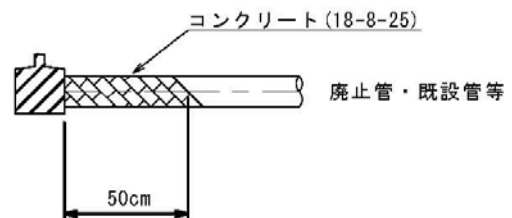
末端保護工標準図



緩衝材設置工標準図

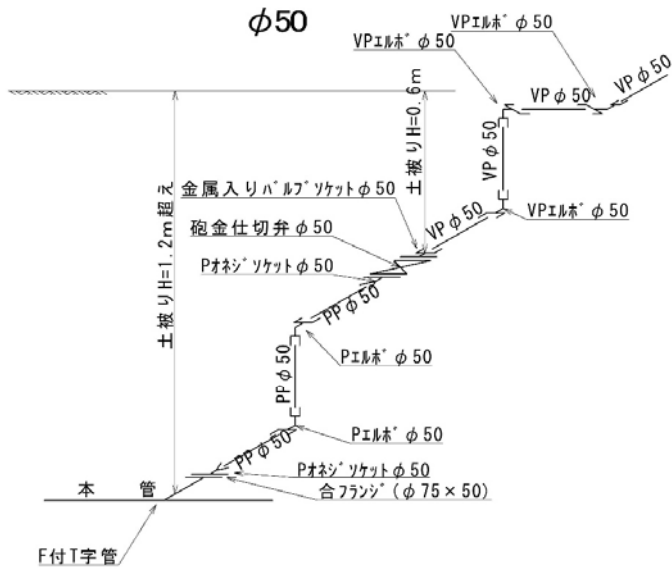


閉塞工標準図

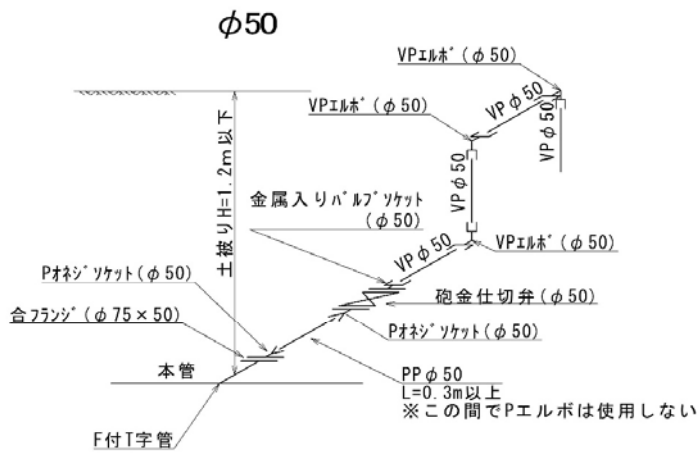


泥吐工標準図

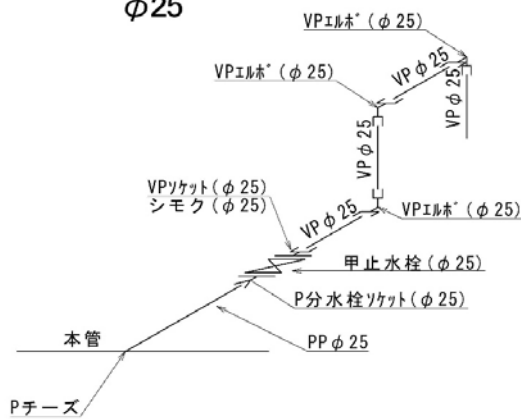
泥吐管（本管取付部）土被り1.2m超えの場合



泥吐管（本管取付部）土被り1.2m以下の場合



φ25



特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
特別監理技術者の設置	特別監理技術者の設置	□ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特別監理技術者）の配置）を適用する。
配慮依頼事項	<p>□ 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者を含む。）が認められた契約において市内本店事業者を活用することに配慮すること</p> <p>□ 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製品の活用</p> <p>□ 建設機械、機器等の借入れ</p> <p>□ 使用人等において市民の活用</p> <p>□ 津市公契約条例に関する特記</p>	<p>□ 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者を含む。）が認められた契約において市内本店事業者を活用することに配慮すること</p> <p>□ 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元産品、地元産品を活用することに配慮すること。</p> <p>□ 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることと配慮すること。</p> <p>□ 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。</p> <p>□ 津市公契約条例において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地産地消の健全な発展を図るため必要な事項を定める。</p> <p>1 受注者の責務</p> <p>(1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。</p> <p>(2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。</p> <p>(3) 受注者等は、労働者に対し等しい労働環境を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。</p> <p>(4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するとき、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。</p> <p>(5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。</p> <p>(6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。</p> <p>2 公契約の解除等</p> <p>市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。</p> <p>(1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは虚偽の回答をしたとき。</p> <p>(2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。</p> <p>(3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。</p> <p>(4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。</p> <p>(5) 特定公契約にあっては、別添書の事項に違反したとき。</p>
津市公契約条例	津市公契約条例に関する特記	<p>□ 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について承諾し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合は、指名停止、契約解除及び違約金徴収について協議はありませぬ。</p> <p>1 津市公契約条例第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。</p> <p>2 関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。</p> <p>3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。</p> <p>4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。</p> <p>5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。</p> <p>6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。</p> <p>7 市長等が行う施策に協力すること。</p> <p>□ 指名停止、契約解除及び違約金徴収について協議はありませぬ。</p> <p>1 津市公契約条例第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。</p> <p>2 関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。</p> <p>3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。</p> <p>4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。</p> <p>5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。</p> <p>6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。</p> <p>7 市長等が行う施策に協力すること。</p>
社会保険等未加入対策 対策	社会保険等未加入対策 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)	<p>□ 指名停止、契約解除及び違約金徴収について協議はありませぬ。</p> <p>1 津市公契約条例第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。</p> <p>2 関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。</p> <p>3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。</p> <p>4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。</p> <p>5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。</p> <p>6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。</p> <p>7 市長等が行う施策に協力すること。</p>
法定福利費の負担	法定福利費を明記した標準見積書書の活用	<p>□ 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険であり、元請負人及び下請負人は見積書にて法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があると認められます。元請負人は標準見積書書の活用等による法定福利費負担を内訳明示した見積書書の提出を下請負人に働きかけます。また、二次下請以降についても同様に標準見積書書の活用を努めます。（津市H1P「仕事・産業一人札・建設コンサカタン」関係一冊連発契約書からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）</p>
暴力団等の不当介入の排除等	暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	<p>□ 請約する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。</p> <p>1 受注者の義務</p> <p>(1) 契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。</p> <p>(2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。</p> <p>(3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。</p> <p>(4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたとき、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。</p> <p>(6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めなければならない。</p> <p>2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置</p> <p>(1) 入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づき指名停止措置を講ずるものとする。</p> <p>(2) 上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。</p> <p>3 契約等の解除</p> <p>(1) 暴力団等と認められるときにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。</p>

(注) 上記受託業務事項、条件及び内容のし印当該欄は、作業に当たって契約を受ける事となるので明示する。明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等	<input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等に関する特記	<p><input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、以下により徹底を図るものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 工事の中間的な施工種別を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い・うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。 2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（以下「三つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、建設現場等における朝礼・点呼や現場事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所等での食事・休憩など、元請事業者をはじめ、下請事業者等の多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策を行うこと。 3 上乗せの関係者が「特定警戒都道府県」から作業等に促す必要がある場合は、受注者で協議を行い、感染拡大防止のための適切な対応をとること。 4 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。 5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合は、監督員と協議を行うこと。 6 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者（以下「感染者等」という。）であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講じること。なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、受注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。 7 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更の必要があると認めるときは、工期若しくは請負代金額の変更の対象とするものとする。定期的にに基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとします。この場合においては必要がある認められるときは、工期若しくは請負代金額の変更の対象とするものとする。
ワンデーレスポンス	<input checked="" type="checkbox"/> ワンデーレスポンスの実施	<ol style="list-style-type: none"> 1 この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。「ワンデーレスポンス」とは発注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。なお、質問・協議等に当たっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。 2 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。 3 受注者は三重県公共工事共通仕様書「1-1-3 設計図書書の照査等」に基づき、適切に設計図書書の照査を実施すること。 4 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。 5 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 最終変更設計図面・竣工図面 <input type="checkbox"/> その他	<p><input checked="" type="checkbox"/> 延長、使用材料、舗装復旧面積等に変更が生じた場合は、監督員の指定する方法で当初図面の修正を行い、指定する日時までに提出すること。また、最終変更設計図書図面（変更が生じた場合）は当初図面及び竣工図を監督員の確認を受けた後、トレーニングサーバー(A2)及びCVD-R(メディア本体に工事名、工期及び請負業者名を記入)をPDFファイル及び当初図面を修正したファイルで工事完了後7日以内に提出すること。</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容の印刷当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。